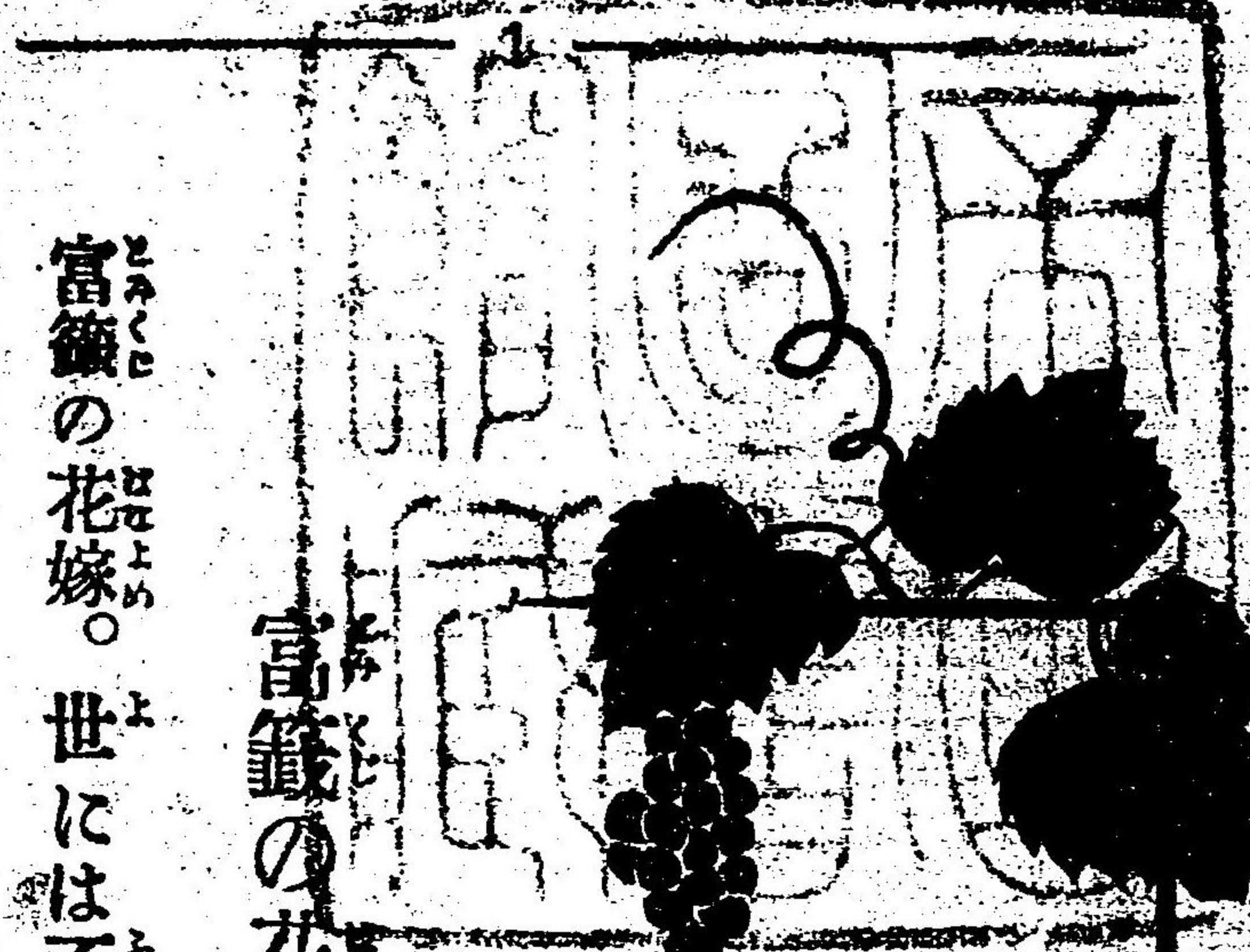


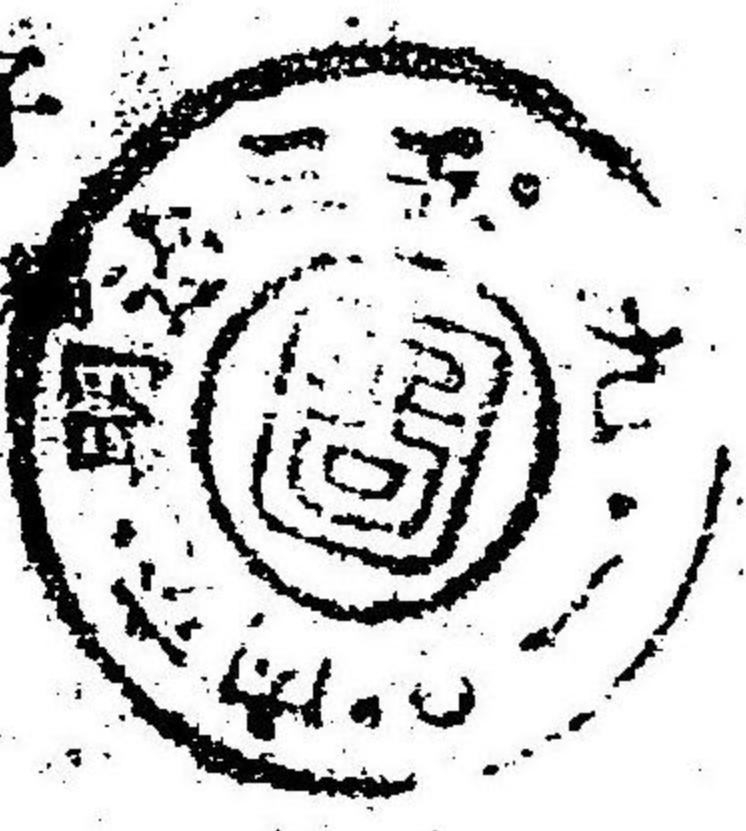
96-50



富籤の花嫁と寡婦島

千
珍
萬
香

西
州
子



富籤の花嫁。世には不思議な事もあればあるもの、花嫁を富籤にするとは……

露國のスメレンスクと云ふ處にて、一年四回つゞ花嫁の富籤を賣出すと云ふ、
一枚の價は一留(凡我一圓)にして五千枚を一日とす、其趣向は一人の嫁入盛り

の娘極めて美人を撰びて、之を賭物とし、籤の賣揚金を持參金として總て娘に與へ、當籤の男此娘と結婚するにあり、當籤したる男は娘の一身を引受くるの義務ありと雖も好まざれば他に譲渡す事自由なり、若し娘の方にて此結婚を嫌ひたる時は、半金を男に分ち與へて身の自由を得るなりと云ふ、此の當籤行はるゝ時は身の幸福を得んが爲め申込み美人の數實に數百人に達すと盛んな者なり、

那威の寡婦島。那威沖にアルラッドと稱する一小島あり、島内の住民悉く寡婦にして男子の姿を見ず、此れ過つる年全島の男子漁獵の爲め勇しく海上に乗出したるも、順かに起りし風神の爲めに脆くも海中の鬼となりたるにて、全島擧つて歎き悲しみ終に配偶者を失ひたるまゝ今日に至れりと、近來那威政府は此

等に配偶の目的を以て男子の移住を奨励しつゝありと云ふ、

花嫁の當籤……娘一人に五千人の候補者際どき事輕業師

寡婦島の渡航……善報あり百合ありア、我何れを得んや

女人國 と 花嫁狩

女人國。露國にベヌエコウスチツナと云ふ神境あり、純然たる女人國とも稱すべき處にして、露國に珍らしき天真瀾漫なる一小天地を作り居ると云ふ、此部落は七ヶ村より成り之を統治するはサスタカと呼ぶる、一貴女にして、各村長辯護士、巡查、一般の商人等皆何れも婦人なれば制御行届き淫ちがましき事なく實に天然の樂天地なりと云ふ、

花嫁狩。昔は國內に令して美人を涉獵求めし事ありと聞く、今は米國政府にて一の法律を設け印度人種の中、少し開けた分を米國の市民に編入し、米國人と同じ様市民權を與ふる事に決し、其基本財産として土人一名に付き二萬圓の現金と其種屬により五十町歩乃至貳百五十町歩の土地を分與する事となりたれば此の際白人種にして黒人種の婦人と結婚すれば、黒人同様の恩典に浴し得らるゝより右の法律發表せられてより、慾深の白人種やはか此機を外すべき花嫁を尋ねて、遙々印度地方へ出掛け目を皿とは斯る事をや云はん一時に花嫁狩を行ひしとか、唇厚き漆黒無上の花嫁、白と黒との配合天下の奇觀此の上なかるべし、

天然の女人國。美しき事垂延萬丈しかし露國と聞けばウツカリ行かれじ

財産ほしさに印度人の花嫁狩。さすがは米國人一流

西洋深草少將と顔を見ざる夫婦

西洋深草少將。西班牙には驚くべきもの厭ふべきもの數多き中にも、最も驚くべきは婦人の取扱方なり、處女たると否やを不問非常に嚴重なる監督の下に生活せしめらるゝ故にか、男女交際の道全く杜絶せられ、爲に自然結婚上英米諸國と其趣を異にするも致方なし、二三百年の昔も今も變る事なく、未來の妻に申受けんが爲め先方へ結婚の申込をなす時は、男は其婦人の家の窓の下に立ちて自分の眞情を打ち明け同情を得ん事を勉むべし、若し其女にして氣に入らざる時は遂に一回も顔を見する事なければ、此縁談を思ひ切る事なるが、中には

六十日間乃至百日間も撓まず倦まず風雨に曝されて佇立み、眞情初めて女の意を動し此に正式の手續に家内に請じ入れられ、互の胸中を打明け互の身元を正し故障なしと見認められれば、此に初めて合意の式を擧ぐるなりと飛んだ手敷のかゝる事どもなり、

顔を見ざる夫婦 亞非利加土人の某種屬中には、夫婦と雖も夫たる者其妻の顔を見る事能はざる奇習あり、彼等は全く別々に居を構へ夫は只夜に入て妻の住所を訪ふ事を得るのみなりと云ふ、這是重にチムバツクツと稱する地方に行はるゝ習慣なるが、其他フタと稱する地方にても結婚後三年の間妻は覆面を被りて其顔を夫に見する事なる習慣行はれ居る由、亞非利加を離れて昔のスパルタにも略同様の奇習ありたるが、土耳其にては今猶夫は妻の顔を見るに覆面の

上より窺み見するか、若くは黒闇々の中に非されば見る事能はざる奇習行はれつゝあり

九十九夜の深草少將……思ひ出されていと憐れなり

夫……妻の顔を見られざるとは見合もあつたものにあらず

二千圓の接吻 と 愛國的接吻

二千圓の接吻。米國アラバマの某市に於て、結婚式を擧げたる計りの若夫婦、新婚旅行の首途、ルイズウイルよりナシユヰイル行の瀛車に乗車したる時、若夫婦の側に座を占めたる一人の若寡婦あり、新郎は丁度用便に行き、今や瀛車隧道を通過し居る最中に歸り來りたれば、車内の闇きを幸ひに直に新婦を抱きて

接吻したるに、何ぞ圖らん接吻せしは我意中なる最愛の妻にあらずして、隣席の若寡婦ならんとは………新夫は早速其間違なる旨を辨じしきりに無禮を陳謝したるも、若寡婦いづかな承知せず終に訴訟を提起して、二千圓の損害賠償を求めたりきとなん、

愛國的接吻。濠州諸殖民地より英本國の爲めに出で、南亞非利加に闘ひ任を終へて郷に還へるの兵士、喜色満面いづれも郷國戀ひしさ變りなく、到る處非常の歓迎を受け満足言ふ計りなきに、殊に情の濃き娘の接吻に忙殺せらるゝ程にしてニユーヨークの如きは、三百人の美人に抱き着かれ心のまゝに接吻されたる爲め、殆んど斃れん許りに疲れ切たりとの事なるが、濠州にありては戦争珍らしき故斯の次第なりと云ふ、

出来損ひの接吻に二千圓取らるゝ間の悪るさ
三百人の美人に接吻されたる一兵士斃れたりとて悔なけん

老人盡しの結婚 と 盲人盡しの結婚

老人盡しの結婚。澳國首府維也納に於て、九十二歳の一老人九十歳の處女（てもなからう）と結婚したるが、新婦の附添皆老ひたる婦人にして、八十二歳八十六歳九十二歳の三人、新郎の附添は其友人にして、九十四歳なりしと贅樂たる事驚くべし、

盲人盡しの結婚。濠州クインズランド盲人組合の頭取たる盲人の宅に於て、面白き結婚式を行はれたり、新郎は當年三十三歳の盲人、新嫁は十八歳にして又

盲人、媒酌人も盲人なれば招かれたる五十人の賓客も又盲人なりきと云ふ、殊に可笑しきは盲人より成れる一隊の樂師は、得意氣に祝歌を謳ひ出したるに、さなさだに騒がしき彼等は狂せん計りに打喜び、立上り横入亂れての狂態に、掴み合ふ、組む、打つ、呑む、喰ふ、踊る、跳る、いつ果つべしとも見へざりきと云ふ、

老人盛しの結婚老いたりと雖も目出度し

盲人盛しの結婚若しと雖も危し

痘痕の代りに髭と 西洋女氣質

痘痕の代りに髭 露國ワルント府に於て、或る家の下女烈しき痘瘡に罹りたる後

顔面に痘痕を生じければ、府にての有名なる巫女に其治療を求めたるに、巫女は二十圓の謝金にて其治療を承諾し必ず全快すべきを約せり、聽て剃刀を以て毎日娘の顔を剃る事約二ヶ月に及びしに、結果は實に意外………痘痕の消えたる代りに、新に黒々しき髭を生じたりとて、鏡を見たる下女氣絶せりと、

西洋女氣質。葡萄牙リスボン市のロイスと云ふ男、ズボンを新調したるに五六分許り長過ぎしより、細君の許に持ち行きて六分だけ切縮める様頼みしに、細君其日虫の居處が悪かりけん、今は忙しければ妹に頼まれよと云ふに、男も致方なく妹の方に持行きしにこれ又同様の返事なりければ、男は又も已むを得ず娘の方へ持行きり、娘も何か心にそまぬ事ありてか素氣なくいやだと答ひたり、腹は立てどもかゝる小事に家内の平和を亂してはと我慢して、男は右のズボン

を藏しまひ置きしに其夜そのよに至り、細君さいくんまづすまぬ事ことしてけりと後悔こうかいして、ズボンを取出とりだし六分丈切縮むちぢりぢぢめて綺麗きれいに縫ぬひ上げ元の所ところに返し置をきし處ところ、娘むすめも良心れうしんに責せまめられて又六分丈縫ちぢひ縮ちぢめ、最後さいごに妹いもうとも心づきて同じく六分丈縫ちぢひ縮ちぢめぬ、それと知らぬ男をとこは翌朝よくてう之これを穿うがちて食堂しょくどうに現あはれしに、家いへの子供こどもは吃驚びっくりして曰いわく『ヤア御父おとうさんが變へんな半ズボンはんずぼんを穿はいて居ゐるよ』

痘痕たうこんの代りに跡あと……二十世紀の下女しやにょ八字はちの美髯みぜんとすに足らざるべし

何れも同じ女心……メホン變へんなりと雖も末頼母すえのりし

蓄音機ちくおんきの結婚けつこん と 電話でんわの結婚けつこん

蓄音機ちくおんきの結婚けつこんに蓄音機ちくおんきを利用りようしたるは、近頃ちかごろ英國えいこくに起おこりたる事實じじつなり、倫

敦とんに夫婦ふうふの約束やくそくを整とへたる若き紳士しんしと淑女しゆくぢよとありたるも、當時たうじ生憎あいにく新婦しんよめの家いへに痘瘡たうそうと云ふ悪疫あくえき發生はつせいしたるより、當分たうぶん正式せいしの結婚けつこんを舉あぐる事こと能あたはざる場合ばあひに立た至いたりたるも、固もとより長ながく延引えんいんさるべきにあらざるとて、新婦しんよめは誓ちかの言ことばを清毒せいどくされたる蓄音機ちくおんきに話はなし込こみて新夫しんよめに送り届とどけ、新夫しんよめは之これに依よりて登記とうきを濟すませ免とに角結婚式かくけつこんしきを終おりたりと、

電話でんわの結婚けつこん。男をとこは米國アメリカケンダツキイ洲しゅうのコーヘンと呼よはる、商人しやうじん、女をんなは同洲どうしゅうのガーツルードと云ふ若き寡婦あまたの間に結婚けつこんされたるが、此兩人このりやうにんは餘程あま里數りすうを隔へたて居をるも、會あつて寫真しやしんを交換かうかんし未だ顔かほを合せたる事ことなかりしかど、此程このほど或人あるひとの媒介なかあひにて急々いよく式しきを舉あげる事ことになると、花嫁はなよめは父ちちと妹いもうとに伴つれられて電話局でんわきょくに至り、立會たちあひの牧師ぼくしハーディングを呼よび出だしたり、牧師ぼくしハーディングは他たの電話局でんわきょくにありて先づコ

「ヘンを呼出して、結婚に關する宣誓をなさしめ、次にまた花嫁に電話を掛けて同じく宣誓をなさしめ、双方遺憾なく取運び、新夫より『汝愛する妻よ』新婦より『我敬愛なる夫よ』との言葉を替して式を終りたるが、此間僅かに十五分間を費やし電話料は一切で四十六圓なりしと、

蓄音機の結婚……電話の結婚……何れも文明の利器よくも應用せり

二百人に接吻せられたる人と一回の接吻二百餘人を殺す

二百人の婦人に接吻せらる。製鐵會社長として二百萬圓の年俸を受けつゝある米國のチャールズ、シユワツツン氏、此程ペンシルウエイニア州ブレデリック某

教會に一萬三千九百弗を寄附せしが同教會の信徒は、重にカーネギー會社の勞働者なる事として、氏の好意を謝せん爲め交々立て氏を接吻したる婦人の數、殆んど二百人に及びさすかのシユワツツン氏も大に閉口せりと云ふ、

一回の接吻二百餘人を殺す。西洋に行はるゝ接吻の禮、偶々病毒傳染の媒介となり容易ならざる損害を及ぼすの例常に聞く處なるが、西班牙フロリダ沿岸の小港カンダロに於て起りし損害の如く大なるはなげん、一日同港碇泊中の西班牙船乗組員中の黒死病嫌疑の患者生じたるより、規定に従ひ同船は檢疫所繫留を命ぜられたるに、乗組員は無聊に堪へざる儘一夜短艇に乗じて私かに上陸し、豫て感歎を通せる婦人に久振にて出會し、例のキッスを與へたるに、キッスの効果は贖面右の婦人は眞正の黒死病に罹り、間もなく全村に蔓延し村内の人

口千五百人の内、病疫の爲め斃死したる者無慮二百名に及びたりといふ、

二百の婦人の爲めに燃ゆるが如く接吻せられたりとはさても幸福

たつた一回の接吻二百餘人を殺したりとは……うっかり出来ぬ

偶然の結婚一対

突然の婚禮。米國ボストン市に世にも珍らしき結婚を行ひたる者あり、同地の一富人死に臨みて其甥にアナスタスマスミスなる名を有する婦人と結婚するときは其遺産を悉く譲與すべき旨遺言したるが、甥某は遂に其名の婦人を見出したれば、某日を卜し寺院に集り式を擧げんとせしに、其婦人頓に急病に罹り到底結婚の見込なきに至れるより、式に列せる人々大に驚き且つ新郎の好配を得ず

して、多額の遺産を失はんとするを悲み居りしが、突然人々を排除けて一少女の進み出づるあり、羞かしげに自らも亦アナスタスマスミスと名のる者なれば、御思召に従ひたしと述べけるに、新郎は天へも昇る歡にて直ちに結婚の式を濟せたりと云ふ、

偶然の結婚。米國紐育州のヨンカースにて猶太人の宴會を催ふせしに來會者男女二百人にして非常の盛會なりしが、宴酬なるととき來會者の一人、一同にて戯れの結婚式を行はんと發議したりしに、面白き新趣向なりとて一同の賛成する所となり、來會せる男女各々戯れに夫婦となり、指環を交換して茲に凡そ百組の新夫婦出來たるが、こは同宗教上正當の結婚と認むべきものなりとの事にて、既に結婚して夫あり妻ある者は青くなりて驚く事一方ならず、裁判所に向て今

回の結婚の取消を求むべしと狼狽するもあり、中には之を好機會として眞の結婚を執行したるもあり、冗談に取結びたる結婚が事實となりたるため、一時大騒動を惹き起したりと、

突然になれる結婚……此場合に於ける感念只驚喜と感謝あるのみ

百組冗談の結婚……意外……正當……喜ぶ驚く赤く青く一杞一憂

躰量額持參金の花嫁 と 三十五度妻を代へたる支那人

躰量額持參金の花嫁。獨逸のグーニツヒグラツに住するヘミナと云へる富豪、最愛の一人娘を他家に嫁入せしむるに就き、能き見上もがなと萬考の末、娘の

躰量と同量の銀貨を持參金として新郎に送る事に決し、結婚の當日式を擧ぐる前來客の面前に於て、娘の躰量を測りたるに其躰量は六十二基瓦(十六貫五百匁)なりしかば、之に相當する銀貨三萬三千七百五十圓を贈りたりと、富豪の心掛さすがに違つた者なり、

三十五度妻を代へたる支那人。支那は有名なる嫉妬家の多き國柄なるだけ、また風變りの嫉妬もあればあるもの、今年四十歳なる北京に棲む一支那人は、十八歳の時初婚せしより今日に至る迄、三十五度妻を代へ近時は三十六人目の妻を娶りたりと云ふ、なぜかくの如く最も愛の深かるべき其妻を代へたるか……此家には實に嫉妬深き意地悪き一人の妹あり、いたく美人なりしが過つる年の痘瘡に顔一面の穴だらけ、おまけに頭髮ぬけて海坊主の如く、誰一人見向もせ

ざるを恨みてか、婚禮の當日より既に、新婦逐出の策を講じ、日夜新婦を苦しめ終には刀物三昧にも及ばんとするにぞ、新婦の驚き一方ならず常に夢中に飛出すなりと、

銀貨と花嫁……二つの同量を迎ひたる花婿……社會の幸運兒

妻を三十五度替へたる代物終に度すべからざるか……それが支那人とは

自轉車結婚 と 賣買結婚

自轉車結婚。花嫁も花婿も其従者も媒妁人も悉く自轉車乗りなりし結婚、英國はノルフォルク郡ブルハムなるセントメリース教會に於て行はれたり、當日花嫁花婿を始めとし總數三十人、皆意匠を凝らして美事に裝飾を施されたる自轉車

に打乗り、意氣揚を乗込たり車上の花嫁は、純白の禮服に橙花と面皮さい着け又附添人も純白の禮服を着けて手には深紅色の薔薇にて作られたる花冠を持つなど、凡て普通の結婚式に異ならざりしが、教會最近く従者の一人いかなる機會にやもんどり打つて轉倒し、折角の結婚に一の瑾を興へしがさしたる怪我もなく、式は目出度済ませたりとなん、花嫁花婿にてなかりしこそ幸ひ、

賣買結婚。賣買結婚は遠く野蠻時代の弊習と思ひきや、今猶露西亞に此遺習行はるゝとは驚くの外なし、同國ヴォル河上流に位シカミシンと稱せらるゝ地方にての結婚は、一に賣買に依り成立するものなるが其相場は、上流社會の容貌艷麗なる娘にして、百圓乃至二百圓と稱し、格段飛切といふ代物の場合には其價も千圓に達す、極く僻地にして下等社會の娘なるときは大概五十圓位の相場

に過ぎず、賣方なる娘の兩親は、一錢にても貴く賣飛さんと試み、買方なる男の兩親は可成安直に買受けんと直段を刻むより、結局賣買の成立つ迄には餘程の日子を要し、男女相互の戀、愛情等も至つて冷かにして、大賅が金づくの事故貧乏の百姓などは到底妻帯し能はざるもの澤山ありと云ふ、

自轉車結婚……夫妻の併び立てる車の變輪に似るも目出たし
 賣買結婚……いかに金の世の中とはいへ戀も金づくとは情なし

風流なる女皇 と 多藝なる女王

風流なる女皇のルーマニア國女皇陛下は、性來花を愛し四時の花を絶へず、部屋くの飾り付けは何れも皆華麗なる天然の花を用ゐ、且つ文章を弄せらるゝと

さは何時戸外に出て、花にて掩はれたる石を机となし、其上にて起稿遊ばさるゝ由又子ザランド女皇陛下も、宮殿近くに一の花園を作られ、親から花木を培養遊ばされ、常に侍臣に向て『此の花園に入るときは我身の女皇たるを忘れて最と愉快なり』と仰せらるゝ由、いと目出度御心掛にこそ、

多藝なる女王。各國女王には多藝にして専門家を凌がるゝ腕前ありとは驚嘆の至りなるが、葡萄牙國女王は熟練なる醫師にして又裁縫師たり、丁抹國女王は彫刻家畫家音樂師たり、ルーマニア國女王は著述家及び講演者なり、和蘭國女王は彫は巧なる帽子製造人たり、以太利國女王は有名なる語學者にして又音樂師たり何れも一個の専門家として生活を支ふるに十分なりと、

風流なる女皇……多忙中の閑日月神に迫るの妙あり

多藝なる女王……國民の母たる心掛さもあるべし

氣の早い結婚 と 店先の結婚

氣の早い結婚。米國ニユーヨークのホーガンと云ふ男は旅店の主人なるが、妻に先立たれて心淋しく思ひ居る柄柄、クーフと云へる一寡婦所用の爲め紐育に旅行し、ホーガン旅館に一泊せしに初對面情思早くも相通じ、其夜語り明し翌朝早くも結婚の届出を済して、天下晴れての夫婦となりしと、さりとはあまりに……

店先の結婚。米國オハイオ州の某市にて、新規に開業したる家具建物の某は、何か珍らしき手段に依り屋號を廣めんと種々考案の末、貴き廣告料を拂ふて將

に結婚式を擧げんとする男女二人の者を雇ひ來り、教會の代りに自分の店先に於て式を擧げしむる事にし、前日より其旨諸方に廣告し置きたるに、聽て定めの日となれば見物人は四方より集り、新夫新婦は賣物の家財道具を陳べある店先に、目出度結婚式を擧げ店主は見事に其目的を達し得たりと云ふ、

氣の早い結婚にも程のあつたもの僅々一晩て……さりとは
廣告に代用したる店先の結婚さすがは米國人……廣告界の隊長

下女新聞 と 下女條例

下女新聞。米國市加古の婦人労働者協會は、下女組合の別名なるが此程協會を開き、新に機關新聞として一の週報を起す事を決議したり、其目的は労働婦人の

利益を保護し権利を主張するに在る事無論なりと云ふ下女萬々歳、

下女條例。濠洲の新南ウエルス州議會に於て、此頃議決せられたる下女條例

例なりと云ふを聞くに、下女の働くべき時間を一日八時間以内に限るとし、若し饗宴などの場合に於て時間を延すも一日十二時間を越ゆる事能はざるの制規なりと、さりとして連日を許さず一年十二度を超ゆべからずとの條例を發布し、犯したる者は相當の制裁あるものなりと下女先生大得意、

下女新聞……井戸端會議の討論記事も載せられさうなり

下女條例……庶瓜らしく實行出来ればお慰み

友人の死屍を喰ひし旅人と 友誼の如何を

試みし紳士

飢て友人の死屍を喰ふ。ハストン、セリー、チーンと稱する三人の米國人、冒險心

にかられ北部探險の爲め郷里ワシントンを出發したりしが、アラスカのアマヤ

ハリ河邊にて最早一片の食糧なく、飢餓に迫り居るも無謀にも尙勇を鼓して

山又山と旅行を續けたるが爲め、チーンは終に餓死するの不幸に遇へり、後に

殘されたるハストン、セリーの兩人いたく悲しみしかど、最早我命も旦夕に迫

りたる事として、止を得ずチーンの屍體を食して、僅に露命を繼ぎ漸く餓死を免

かれ居る内、幸にも情ある旅人の救助を受け、此程ワシントンに歸來したりと

實に無慘の極と云ふべし、

友誼の試験。金の世の中……金あればこそ……金なくばなんの己れが櫻かな

……英國倫敦の一紳士、其友人の己れに對する友誼を試みんと欲し、親友二

十四名に向ひ書面を以て百圓の臨時借用を求めたるに、内十三人は全く返事だに發せず、五人は貸與を拒絶し三人は翌日直ちに送金すべしと返事しながら終に送金せず、快く相談に應じて金額を送り呉れし者僅かに三人に過ぎざりきとなん、試みし紳士併に友人も凡て立派なる財産家なりけるに、意外の効果を收めたる紳士は、いたく世態の現金主義に驚きたりとなん、

友人の死屍を喰ひたる旅人……心は鬼にはあらざるも如何せん情狀酌量すべきあり

困らざれど金を借りんとしたる紳士……我利く亡者に金の無心むしる噴飯

硝子喰の紳士 と 針喰の娘

硝子喰の紳士。世界は廣し随分變つた珍物顯はれ來るは自然の勢なれど、此に

は其内の一に數へらるゝ不思議なる話あり、米國グラフィアムにストーンといふ紳士、名詮自稱硝子を喰ふと三度の常食より好み、尙石炭煉瓦の類迄嚙碎きて喜色あり、中にも硝子は最も好む處にして、遙かに數等の美味なりと稱へ居るには呆れざるを得ず、

針喰の娘。佛都巴里より程遠からぬ、セント、マヤーマンと云ふ村のジュリアン、ランドリと呼ぶ娘は、當年十六歳の娘盛りにて某家に召使はれ居りけるに、何となく皮膚に刺衝を感じる様覺えけるとて、村の醫師に治療を乞ひたるに、身軀の各部より幾本となく縫針露はれ出て居る事とて、早速ピンセットにて拔取りたり、其より毎日同醫師の治療を受けしるに、續々手、腕、足、胸、耳朶、眼瞼、右眼の隅等より拔取たる針は實に百二十本に及びたり、此の娘十一歳の折より

繼針を飲み下だす事を好み一日に四十九本を飲みたる事ありとぞ、五年間の内何等の故障を感じずる事なくして至つて健康なりし、由奇といふべし、

硝子喉の紳士……文明の今日硝子を喰はれてはたまつたものにあらず

針喰の娘……地獄の針の山恐るゝに足らざるべし

西洋三代將軍 と 女皇の木登

西洋三代將軍。今の日耳曼帝御壯年の折、元旦の一夜高帽を戴きて、得氣氣に歩行する紳士をば、如何に小面悪しとかや思はれけん、必ず紳士の後を尾し或は待ち伏せして、其人の高帽を拳骨にて打落すを何よりの樂と爲されしが、或年の元旦の夜某高等官吏、棘一面の鐵の帽子を製して之を戴き、暗に乗じて歩み

行けるに、果して曼帝は、それとも御存じなくイツモの馬鹿奴が來たと喜び勇みながら、力任せに其帽を目懸て拳骨を打下すと、コハソモ如何に……絹帽と見えしは針のある鐵の帽子ならんとは……陛下は餘程痛く感じ賜ひけん、一聲高く叫び給ひて踏跟たる其機に、かの高等官吏は逃去りたり其後陛下には絶て此事を遊ばざりしと、

女皇の木登。故英國女皇の幼なかりしとき、徒然のあまり従者をも連れ立ち給はず、一の高き林檎の樹に攀ぢ登り玉ひたるに、女の身の悲しさ容易に下る事能はずして、遂に泣き叫び玉ふ聲を通り掛りしダウイスと云へる男、扶け下ろしまゐらせしに女皇は甚く御喜びあり、ダウイスに金貨一磅を賜ひたるが、此男後にて女皇なる事を知り、右の金貨を額面に入れ逢ふ人毎に誇り示せりと、

曼帝の壯時我三代將軍に彷彿たり果して勇往果斷なる帝王よ好將軍よ
手づから給ひし一磅の金貨千萬に優りたる生きたる寶なり

奇妙の禮法 と 奇税

奇妙の禮法。亞細亞西藏には随分奇妙の禮法あり、中にも途上知人に遇ひたる時
の禮法は、握り拳を差し上げ舌を吐き出すなりと其態如何ならん、
佛國の奇税。佛國一部の奇習として、男子用の股引を着する婦人に對して、殆ん
ど十圓の税を課すると云ふ何の積りやら、

途中拳を擧げ舌を吐き出せば妙齡の佳人令嬾氣絶すべし

股引を着つる女に十圓の課税既に奇なり珍なり

各國人の名刺 と 歐米婦人の化粧時間

各國人の名刺。日本人の名刺を見るに、男子用は大きくして女子用は小さし、藝
妓酌婦などに至つては更に小さき名刺を使用す、歐米人の名刺は女子用は男子
用より大きく、支那人は例の長さ五六寸幅三四寸の紅唐紙に楷書にて麗々と書
き記し、朝鮮人は更に奇觀にして方一尺位の紙に名を自署又は印刷せるもの
なりと、又未開國民の名刺には頗る風變りの者あり、東印度のスマタラ島の土
人は、長さ一尺許りの木片に藁と小刀とを束ねて飾り付け、訪問の際名刺の代
用として之を差出すの習慣あり、尙亞非利加ダボミー人は訪問の際奇態に彫刻
したる樹の枝、或は木板を持參し訪問終るときは主人は之を客に返却して反復

之を使用せりどぞ、

歐米婦人の化粧時間。世界各国其化粧法の趣を異にし、我日本に於ては外貌上の化粧及び裝飾に心を勞せるの傾きあるも、歐米婦人は内軀を顯はす事多きを以て、其化粧の方法も亦複雑にして日本の俳優と同じく獨り外貌のみに止らず手足胸部等皆相當の化粧を施さる、歐米の婦人中最も化粧に長き時間を要するは、米國婦人にして其贅澤なるは、牛乳浴、右鹼浴をなしたる後化粧に取掛るものにして、其化粧時間に殆んど一時三十分若しくは二時間を要すと云ふ、次は佛蘭西及び西班牙の婦人にして約四十分乃至一時間を要し、其次は獨逸英國伊太利の婦人にして、二十分間乃至三十分間を要して其化粧出來上るといふ

各國人の名刺は、國別の主義を顯はすに似たり

婦人と化粧……車の變輪……著の一對……到底離るべからず

倫敦の淫賣婦 と 巴里の賣淫婦

倫敦の淫賣婦。倫敦の銀坐街たるピカソリ、リセントの諸街は、夜七八時頃より朝三四時頃までは淫賣婦を以て滿され、心ある者は之を以て倫敦の面目を損ふものとなし、大に憤慨しつゝありとも倫敦の賣淫婦は、隱顯出沒自在にして政府如何に之を取締り、或は劇烈なる淫賣符を爲すと雖も、徒らに其數十人を懲し得るのみにて、全軀に於ける痛痒何等の効顯なしと、何れの國何れの都、秘密なく、淫賣なき神聖なる勝境遂に求むる能はざるか、

巴里の賣淫婦。佛國巴里は獨身者の多き事世界第一、又賣淫婦の多い事も世界第一

一にして、其醜業機關の整頓し居る様實に目醒ましき者なりとは、世の人の最も奇異に思ふ處なれど其方法も賤しからずして、又熟練なれば警察の目も徹底せず、常に金殿玉樓に出入し、高等旅館といはず、何れの俱樂部いづれの集會を問はず、はては辻馬車、高等理髪をも荒し立て其魔風を靡行せしめて餘す事なし、常に巴里に遊びたる者の、忘れんとして遂に忘るゝ能はざる者は、此等の魔窟にぞありけるとぞ、

ア、淫賣婦……飯の上の蠅……糞中の蛆……拂へども去らず取れども盡さず

蚊の小包 と 郵便函内の蜂

蚊の小包。米國大西洋沿岸線鐵道にてリツチモンドを経て、華盛頓に向け送られ

たる貨物の内、古今未曾有の小包あり、編絲を以て蔽はれたる木製の箱にして上に『蚊四百匹入』と記されたる奇代の代物あり、之は北カロライナより華盛頓の博物館に送られたるものなるが、四百の蚊軍何れも壯健にして、華盛頓に着する迄の途中、ブン／＼の聲絶えざりと云ふ、

郵便函内の蜂。英國リンコン附近の一郵便局に附屬する郵便函に、或日一疋の女王蜂侵入したるに續て無数の蜂群を爲して亂入したり、やがて開函時刻となり脚夫は何心なく開函せんとしたるに、無数の蜂用捨なく脚夫を螫し容易に逃げ去る摸様なきより、止むを得ず局へ引返し長き火箸を以て、中なる手紙を一本宛摘み出したるが爲め、長時間を要したりと云ふ、

文明の利器も蚊の小包に利用され

人を殺したる蚊 と 鰐を呑みたる大蛇

人を殺したる蚊。米國メーリランド州クリスフールドにて、ウィルリヤム、マハ
ーと稱する七十歳の老人は、煙草を求むる爲め外出し其歸途道を失ひて或沼地
に出たるに、一群の蚊軍に襲撃せられ、口と云はず目耳鼻等處を撰まず刺し立
てられたる爲め、終に脆くも氣絶し翌朝に至り一旅人の爲めに發見せられたる
も、既に絶命し顔は見違ふ迄に脹れ上り居たりとぞ、
鰐を呑みたる大蛇。米國紐育の中央公園内の動物園に、飼養され居る長さ三間
餘の大蛇、同構内に在りたる米國産の鰐魚長さ五尺重さ百六十斤餘の者を呑み

込みたり、時に同園の監督者なるスミス例の通り、鰐に與ふべき食餌を運びし
に、件の鰐魚一匹見ざるに不審を起し、百方搜索する中不圖同居の大蛇を見
たりしに、其腹部は平素の二倍大となり、鰐の形に脹れ上り居たるなり、扱て
こそ大蛇に呑み込まれし者と知れ、百方手を盡し大蛇をして鰐魚を吐き出さし
めんとしたりしも、終に其目的を達する事能はざりきと云ふ、

蚊といへども其力侮るべからず

鰐と雖も隙あらば大蛇にのまる

長命の龜 と 象

長命の龜。有名なる英國の富豪ロスチャイルド、此程倫敦の動物園へ寄贈せし稀

代の大龜は、其重さ九十貫に上り、世界に於ける最年長の動物と稱せられ、百五十年の齡を保ち居るものなりと、

象の長命 象は亞非利加並びにアラビヤ等に産し、龜と共に天然の壽命長く、平均百二十歳を保ち得ると云ふ、これ意の向ふ處に移動し、思ひのまゝに食を取り、水を吸ひ極めて自然に極めて不規則なりと雖も、能く斯の如き長壽を保つ、人に畜はるゝ者は、運動及び食餌を拘束せらるゝの故か、多くは短命なりと云ふ、

龜は万年の齡を保つと聞きつるに百五十歳で長命とは

動物は大なる者より小なる者長命なり然るに最大の象百二十歳以上を保つとは

賊を走らせたる鸚鵡 と 鳩の通學

賊を走らせたる鸚鵡。佛國里昂某家の老婦人、知己より一羽の鸚鵡を買求めたるに、此鸚鵡は僅かに『鐵砲を持って』と云ふ語より外に何事も言ひ得ざりしかば老婦人は大に腹立ちて格別の寵愛もなさざりしが、一夜家人の寢静れる頃を見計らひ、侵入したる一組の強盜、豫て室内の様子を知り居りし者と見へ、銀貨を貯へある鸚鵡の部屋に忍び入り、今しも燭を照して一仕事せんとする一刹那、籠の中なる鸚鵡は俄かに『鐵砲を持って』と一聲高く叫びければ、強盜は此一聲に肝を抜かれ、一目散に遁れ去りたりと是より鸚鵡は、一家の保護者として甚く老婦人に寵愛さるゝ事となりしとなり、

鳩の通學。英國リヴァープールの或家に飼ひし一羽の鳩は、性非常に伶俐にして毎朝其家の子供の伴して、一所に學校へ通ひ授業中は窓の外に音無しく待つて

居て、課業が終ると其子供等の歩む頭の上で大きな輪を作りつゝ、舞ひに舞つて家に歸る愛らしさは、往來の人々も思はず足を停める程なりとぞ、

眞似より出来ぬ鸚鵡さへ賊を走りせし手柄あり

鳩に三枝の禮ありと三ツ子も知るに今又通學するとは

蟻の芝居 と 鳩の宮殿

蟻の芝居。獨逸伯林には蟻の多數を訓練して、之に種々なる藝を仕込み、毎日市街の寄席を興行し廻る見世物師の一組ある由なるが、此蟻頗る藝に巧妙にして能く踊り、能く舞ひ、筋斗打ち、小さき荷車を挽き、戦争の眞似を爲す等あらゆる面白き藝を演じ、頗る流行せりといふ、

鳩の宮殿。突飛なる大計畫を立つるは米人の特色なり、此頃カリホルニヤに建設せられたる鳩の巢は、一萬五千羽を棲ましむべきものにて、其宏大にして奇麗なる事、居然たる宮殿なりと云ふ、

蟻迄訓練して芝居をさすとは……世はどこまで進むべきか

鳩は鳥類中の君子宮殿の出来も無理ならず

三婚式を行ひたる一家 と 六組の結婚を行ひし一家

三婚式を行ひたる一家。英國ベサン市にて、一日の中に結婚式、銀婚式、金婚式の三ツを舉行したる一家あり、當日右三組の夫婦手を携へて所屬教會に參詣し

夫々式を濟したる由なるが、金婚式を挙げたる新夫の祖父は八十三歳、祖母は七十歳の高齢にして、新夫の父母は結婚後既に二十五年を経過して茲に銀婚式を挙げたるなり、新夫は二十五歳の壯年にして、新婦は花の如き十九歳の佳人なりと、古今稀れに目出度一家と云ふべし、

六組の結婚を行ひし一家。獨逸アルスロー市に於て、一日の中六組の結婚式を挙げたる一家あり、縁組の一方は某ホテル主人公の四男と二女にして、彼等は一日の中に何れも縁談調ひ、即日合意の式を舉行し、翌朝には此等幸福者たる半タースの新郎新婦打揃ふて、食卓を圍み婚儀の朝食を取りたりと云ふ、さて目出度事これに越したる事なけん、

三婚式を行ひたる一家は動得財産健康を保有するに等し

六組の結婚を一日に行ひたる一家は四季の花一時に開きたるに等し

三十七人の子持 と 六十二人の子持

十九年間に三十七人の子持。奥太利の一農夫エハン、ステイナー、今を去る事十九年前、本人五十二歳の折柄當時二十五歳なりしマーサと呼べる婦人と結婚したるが、其後の十九年間にマーサは三ツ子を産みし事三回、二タ子を産みし事十回、一兒を生みし事四回、合計三十七人の子供を産みたるが、其第三十七番目の子供は、父親ステイナーの第七十二回誕生日に生れたるなりと云ふ、而して現に生存するは三十四人なるが、彼等は凡て健康にして、且容貌風采等普通の人と毫も異なる處なく、父親のステイナーも七十二歳の高齢なるに拘らず

今猶鏗鏘たりと云ふ盛んなるかな、

六十二人の子持。以太利のチーフルス府を距る事十二哩なる、セラと稱する一小市に、其名をマツタレナ、グラナツタと呼べる婦人あり、四十七歳の折夫に分れたるが、二十五歳より結婚したる以來、五十九人の男と三人の女都合六十二人の子を持ちけるが、如何にして斯の如き大多数の子供を産みたるかと云ふに、三ツ子を産む事十二度、四ツ子を産む事四度、五ツ子を産む事二回と云ふ具合に産みたるなりと、まさか犬でもあるまいにあまりに珍らしき母親なりとて、年金を與ふるの沙汰あると云ふ、

三十七人の子を十九年間に生むさへ異數なるに

六十二人の子を二十二年間に産むとは驚かざるを得ん

喫煙流行國と禁制國

喫煙流行國。喫煙する事の最も盛んなるは、墨西哥と麻尼刺なり、麻尼刺にては五歳以上の小兒は、隨意に喫煙を許され、公然濶歩して市街を横行し、墨西哥もこれに劣らざる流行にて、小學校にて好成绩の生徒には、課業の間に、喫煙の特典を與ふるといふ、

喫煙禁制國。亞非利加のアビシニヤにては、二百餘年以來喫煙を嚴禁しある由なるが、元は僧侶の寺院内に於て喫煙するを禁じたるに始まり、今日に至りては此禁制一般人民に及び、外國よりの旅行家、探險家等警官より煙草を飲む事を禁ぜられ、已むを得ずんば人の見ぬ處で内密に飲むべしとの注意を受くる程なり

とぞ、

喫煙獎勵國……多産地の故か……美人多産必ず多数の多淫男女を有す

喫煙嚴禁國……流行を追はざる豈る喜ぶべしとするも文明の趨勢を如何せん

一杯二十五萬圓の酒 と 三日間四千萬圓の酒代

一杯二十五萬圓の酒。澳太利ブダベスト府の或酒屋に、一日數人の商人集り會
飲し居りし時、身に襪縷を纏ひ見るもむさくるしき一人の職人入り來り、麥酒
の一杯と政府發行に係る富籤との交換を求めければ、集へる商人半ばは戯れに
半ばは本氣にて兎に角出し合せて麥酒の一杯を職人に與へ、代りに富籤を受取
りたるか、其より二ヶ月を経て富籤の開札となりけるに、豈計らんや慰み半分

に受取りたる件の富籤は、五十萬馬克邦貨にして約二十五萬圓許りの大籤に當
り居りしと、

三日間四千萬圓の酒代。クリスマス及ぶ其前三日間に於て、英國民の飲用する酒
類代價はウイスキー千五百萬圓、ブランデー、ヂン等八百五十萬圓、葡萄酒類
千二百五十萬圓、麥酒四百萬圓、總計四千萬圓に達すと云ふあな恐ろしき飲料
かな、

一杯の麥酒……二十五萬圓……刻下の急一杯の麥酒何の益する處ぞ

飲み盡す三日間の酒料……甲鐵艦二隻の製艦費に償す又不廉

好一對の大食家

大食家の食傷。白耳義國マリン市のレイセンといふ男、此程食傷してついに死せしが、同人は空前の大喰家にして、或る族館の主人と大食の賭をして、一度に兎二匹と牛の頭一個を、シチウとしてべろりと平らげ勝利を得たり、又曾て牛肉と鹽豚十二斤宛を喰盡したるさへ平氣なるに、二三日を過ぎて生の蛤三百個と麵包二十一斤を一度に平げたる事あり、それ故同人は平生食事の賭を職業とし、卵八十個を一度に食ふ事最も得意の技術なりしが、頃日一時間に百個を食せんと試みて、端なく失敗しそれが爲め病氣を起し、遂に死したる次第なりと、

大食身を亡ぼす。露國ワルソ市のブラガ停車場に雇はれ居たる猶太人の小使は豫て非常の大食家にして此迄種々の賭事に失敗したる事なかりしが、一日其友

人と賭を爲し一食に鳥五羽、酢漬の西洋菜一瓶、水瓜三個、生胡瓜十個に若干の麵飽を食し且つ麥酒十本、ホトキ酒一ギヤロン、曹達水大瓶五本を物の見事に飲み干して、賭に勝ちしが翌朝に至りて、時刻となるも一向に寢室より出で來らざるにぞ、友人は不思議に思ひ寢室に至り見しに、出て來らざりしも道理彼は前日の大食の爲めに、既に息絶えて寢臺の上に轉がり居りしと云ふ、

肉食の大食家、菜食の大食家好一對の好奇心に假られたる無謀家のみ

欠伸の利益 と 笑ふ病氣

欠伸の利益。佛國の某醫師曰く、自然の欠伸は常に衛生上利益あるのみならず、人工的欠伸、亦咽喉加答兒、耳鳴等の如き諸病を治癒するに好方便たる事あり

と、

笑ふ病氣。米國に流行し始めたるラフィンク、シツクチス即ち笑ひ病とても譯すべし病氣にて、此病に犠牲となりたる患者は、何時ともなしに突然笑ひ出して制止する事能はず、時としては一二時間の長き間繼續し患者自ら疲れ切るに至つて、漸く笑ひ止まるを常とすと云ふ、面白き病氣もあればあるもの、

ハイカラ演説前坐講談下手説教素人淨瑠璃謹て聞け欠伸出る事奇妙
笑ふ門に福來ると思ひの外笑ふ門に病來る……福は何處へ迷子に

酒の酔を醒ます法 と 酒癖を矯正する法

酒の酔を醒ます法。酒に酔ふたる時キャベツを食して、直ちに酔を醒ますは西洋

諸國にて昔よりの言傳へなるが、埃及人は酒を飲む前に於て先づ此キャベツを食すると云ふ、又歐洲諸國に於ても亂醉豫防藥として、必ずキャベツを混合せらるゝといふ、

酒癖を矯正する法。露西亞及瑞典にては、飲酒家を捕へて朝晝晩三度の食事に酒漬としたる麵麩を食物として與ふる法あり、初めの内は左したる事なきも、追々日を経るに従ひ、此種の麵麩は見るも心地悪しく、又酒の香ひを嗅ぐさへ厭となり、終に立派な禁酒家となると云ふ、

酒の酔を醒ます法……下戸黨大に獎勵して可なり
酒漬としたる麵麩……酒癖を直すとは……奇妙

石鹼代用品 と インキの川

石鹼代用品。顔若くは手などを洗ふに、石鹼なくして困却する事あり、斯る場合に於て生の馬鈴薯を取て之を剃き、之にて洗へば少しも害なくして石鹼同様の効果を得べし、眞に馬鈴薯は一種の石鹼なりと、

インキの川。亞非利加のアルゼリアの某河には、鐵素と五倍子酸を含有する二種の水、各別に流れ居りて、此二種の河水を混和すれば、自然に完全なるインキとなること云ふ、

輕便なる天然の石鹼大に徳川なり進んで試み賜へ
重寶なるインキの川早く世界に普及せしめたり

查列斯一世の襯衣 と 獨帝の古靴

查列斯一世の襯衣。故英國王查列斯第一世が、其斷頭台上りし當時、着用し居

たる青色の絹襯衣一枚、倫敦に於て競賣に附せられたるが、其價英貨二百ギニ

ア我が二千百圓なりとは驚くの外なし、此襯衣には王が斷頭台上げらんとす

る際、自分の着用したる襯衣に相違なき事を記したる證明書と、又王が愈々斬

刑を受ける用意として、襯衣を脱ぎ之を侍臣ポツプス氏に與ふる旨を記したる書

面と、都合二通の親書添附しありと云ふ、

獨帝の古靴。獨逸皇帝は名士の古長靴及び短靴を集むる妙なる嗜好を有し給ひ、

其大理石宮内には既に集められたるもの二千足程あり、中にはマホメットの足

に掛りし上靴、ウォルレンス、スタイン、ガスタウアス、アドルフス、彼得大

帝、拿破崙一世の長靴もあり、フレデリック大王及其祖先の用みられし足飾の

標本もあると云ふ。

襦袢一枚貳千圓……これでは容易に洗濯も出来ざるへし

古靴が大理石宮殿に飾り付けられては帽子は金剛石の高闊へても

電話の受刑 と 死刑執行官

電話の受刑。英領加多のオンタリオ市の一紳士、法律に違反の所行ありたりとて、裁判所へ出頭を命ぜられたるに、當日少しく多忙にて出頭する事を得ず、止むなく電話にて罪状を自白したるに、裁判所も電話にて一弗の罰金に處し、裁判費用の辨償を命ずと判決したりといふ之を澤山、死刑執行官。英國內務省に於て、死刑執行官の募集をなしたるに、志願者として

應募の申込を爲したる者、醫師、牧師、獸醫、屠牛者、商店の手代、會社の書記、記帳係、書物屋、農夫、前科者等殆んど數百名に及び却々の景氣にして、其採用方に困却せりと、尙此前マウツトなる執行官の死去せし時にも、其候補者として願ひ出たるもの、無慮數千名に及びしと云ふ、

電話にて自白し電話にて罰金を申渡したるはさすかに利器の應用を知るものか
人間實に奇を好む……死刑執行官に……數千人の應募者とは

處女の泥棒病氣 と あなたの紀念品

處女の泥棒病氣。米國メイン州のニメリヤ、ミルダなる若き女、窃盜罪にて獄中に繋れつゝあるが、此女は同州第一の金満家の娘にして、家に在ては普通人の

出来ぬ榮華を極めながら、生來人の物を盗みたきが病氣にて是迄幾度か家を逃げ出しては、他人の家に下女奉公を爲し、其家財金錢を掠めて逃げ歸るは毎度の事に、父親も愛想をつかし、止むなく勘當を申渡すに至りたるが、爰に不思議なるはエミリヤは、元來伶俐なる上に心だてやさしく、且つ顔かたちも美しく、十人すぐれの方にて自分ながらも盗賊する事の不義なるを知り、窃盗を働きし二三日は前非を悔て泣き悲むが常なれど、數日を経過するときは自然例の持病起り、手當り次第人の物を盗み取ると云ふ、

あなたの紀念品。佛國第一流の唱歌者キヤルベ夫人、曾て西班牙地方を漫遊の折盗難に遇ひ、少なからぬ金と寶石入りの墓口を盗み取られたる事あり、夫人の心配は一方ならざりしが、此事何日しか新聞に出るや、二三日を経て右の墓口

は丁寧に包まれ、しかも一本の手紙さへ附られて返り來りたるより、夫人は餘りの事に早速封押切て件の手紙を讀下せば、

『私は夫人とは知らずに飛んだ無禮を働らきました、盗みし墓口は正に御返し申すにより受取て下さい、但し中にありし金と寶石は、世にも名高きあなたの紀念として、私が頂戴して置きますから左様御承知を願ひます』……………

といふので流石の夫人も二度喫驚、暫しは呆氣に取られて無言なりしと、随分虫の宜い泥棒もあればあるものなり、

金満家しかも美人にして泥棒す……………一種の病氣たるや疑なし我をして判官たらしめば須らく無罪とすべき者を

あなたの紀念といひながら瘻口を返して金を返さず……………如何にしても怒の世界かな

濃霧中の窃盗 と 猛犬を利用する拘摸

濃霧中の窃盗。冬期に於ける倫敦の霧は、世界名物の一なり、其甚だしき濃霧起るときは、第一船舶汽車の出入を妨げ、重なる商店は恰かも蒸風呂の中にあるが如く、荷車馬車等濃霧の裡に互に衝突し、御者は只馬の口を取て茫然と佇立むのみ、巡查は騎馬にて出揃ひ雑鬧を鎮めんとするも、反て其混雑中に迷ひ込み、新聞配達小僧は新聞を束ねたるに火を點して、僅かに市中をたどり歩き、倫敦市中の住民は、流車にて何れにか逃れんと試みて、停車場に至るときは、同じ目的の爲めの避難者數萬人、群集して其混雑云はんかたなく、爲めに拘摸、泥棒は處を撰まず横行して、其兇行を選ふし非常の損害を市民に被ら

しむ、中には銀行に押入り、行員を殺して金員を奪ひ去るものありと云ふ、猛犬を利用する拘摸。佛國巴里には、猛犬を利用せる狡猾の拘摸あり、即ち途上にて紳士、淑女に向つて伴へる犬を嗷かして噛付かしめ、彼等の驚き倒れたる側に立寄り、扶け起すと見せ掛けて、目指す墓口、懷中時計杯を拘摸取るものにして、其巧妙云ふばかりなしと云ふ、

濃霧を利用しての窃盗はまだしも公盜を敢て耻とせざるハイカラに過ぐる萬々

巴里の拘摸は將を射んとする者先づ馬を射よとの金言を服膺する者なるか

兇行無類の強盜 と 全村悉く犯罪人

兇行無類の強盜。歐洲ダニユーア河岸の森に潜みて、多年兇行を擅にして然も

今日迄捕縛を免れ得たる、歐洲に名高きバビローヌと云へる強盜、此程終に逮捕せられ死刑に處せられたるが、彼は今日迄に五百二十名の人を殺し、千餘回の強盜をなし、普通の強盜をなせし事三千餘回なり、彼は斯の如き多くの罪惡を犯しながら、常に莫大の救恤を成す者から、農民間には人望極めて多く、常に食物と宿所を給せられたるのみならず、警吏に追跡せらるるときは、必ず之を知らしめて逃れしめたりと云ふ、

全村悉く犯罪人。羅馬の都より程遠からぬアーテナと稱せらるる村落は、十六世紀の頃より脱獄囚の潜伏地にして有名の處なるが、今は全村の住民悉く罪人にして、殺人犯は毎日行はれつゝある有様なるを以て、伊太利政府も種々手を盡して村落の鎮壓に従ふも、毫も其効なきより目今は殆んど絶望の有様に

て、無罪の民が殺傷せらるゝよりも、犯罪人同士互に殺傷する方却て社會の爲利益なりと稱して、全く成行に任せありとの事なるが、其甚だしきときは一日に二十三件の殺人犯行はれたる事すらありとあな恐ろしや、

少しく我鼠小僧に似たる節あり彼は此の如く回向院に死花を咲かせ居るや否や
犯罪者同士の殺傷寧しる喜ぶべし終に滅亡する近きにあるを

窃盜最中の撮影と滑稽強盜

窃盜最中の撮影。米國紐育に於て家具を商ふデツカー商會の主人デツカーは毎日の如くに錢箱中の金錢不足する事を發見したるより、内々窃盜者を搜索して番頭の一人なる事を確めたるも、尙現行の場處を撮影せんとして、錢箱の方向

に寫眞器械を据付け、錢箱に手を入ると同時に寫眞を撮る仕掛を爲し、寫眞器械は目に觸れざる様爲し置きたるに、其番頭いつもの如く錢箱の内より錢を掴み出す一刹那、寫眞に振され逃るゝに辭なく遂に捕縛せられたる由なり、滑稽強盜。佛國巴里に於てサンクラスコーと呼ばれたる一旅館へ、一人の強盜忍入りしが、早くも女中目を覺しこわくゝながら寢巻跣足のまゝ、強盜くんと叫びながら交番所へ駈け行く向ふより、來れる巡査角燈の消えたるに女中を強盜と間違へ突然引捕へしに「イエ〜強盜は私では御座いません今家へ強盜が這入りまして御訴へに行く途中です」と云ふに、ソレと本署へ急報して引返したり最先に一人の刑事急ぎ現場へ馳せ行く途中、又もや女中を賊と間違へ取て押へしが、漸く女中と判りエー手間取たど現場差して駈け行く出合かしら、今度

は前記の巡査を賊と誤り、立向へは何ぞ計らん同僚なるより二度吃驚、イヤ失敬の聲諸共二人揃ふて該旅館へ跳び込む物音に、館主始め雇男女中一同又々賊の押入りしと思ひ違へて、湯殿に隠くれ、戸棚へ入りてブル〜と震へ居るにぞ、巡査等は漸く落付けさせ、事の次第を聞取りたる此時早く彼の眞正の強盜は先程よりの大コタ〜に一物を得ずして逃げたりとは、實に笑止なりける次第なりしと、

此に持出したるは窃盜最中の寫眞……目付手付に御目を止められて御一覽

滑稽強盜眞物の捕へられざりしも無理ならず

子を喰ひし鬼親 と ジャバ人の毒殺法

子を食ひし鬼親の、匈牙利國アレスベルヒ村に住む某々夫妻は、本年十二歳なる小娘を屠り、舌打鳴らして残らず其体肉を食ひたる上、罪跡を晦まさん爲め、其骨を焼棄てたるが、偶々黒く焦たる骨片巡査の發見する所となり、二人共直に捕縛されたるが、語るに忍びざる鬼親かな、

ジャバ人の毒殺法。竹の若芽(筍)の表皮には、無数の赤色をなせる小毛ある事は世人の能く知る所なり、今此小毛を顕微鏡下に照すときは、中空にして且つ銃鎗の如くに尖り居れる由、ジャバ島に在住する西洋人は、多くの土人之を用いて能く毒殺の目的を達する事稀ならざるを見て、之を竹毒と稱し此小毛を恐るゝ事甚だし、現に土着の婦人にして西洋人に戀慕せんか、野蠻人の弊習として其思ひを遂ぐるときは、左して害をなす事なしと雖も、若し其目的を達する事

能はざるときは、自らの手に之を斬殺すか、或は毒殺せざんば止むべからず、其毒殺の方法の爲め、此小毛を食事中に混じて、相手に食せしむ、毒の効能は他の劇薬と異りて、直時に之を顯はさずと雖も、日を重ぬるに従ひ追々下痢を起し、身体衰弱して終に死すに至ると云ふ、

黄白の爲めに娘を喰物とする鬼親あるも未だ其肉を裂きて之を喰ひたるを聞かざりしに

月も閉ぢ花耻かしき二八の美人はいざ知らずジャバ美人に戀慕されては往生

一對の苦痛なき死

樂な死様。死に樂あるべき善なし、只苦痛を多く感ぜざるの謂ひのみ、巴里の一紳士言へり人若し最も樂なる自殺を遂げんとらば、高山の頂より谷底目掛

けて飛下りよ、未だ地に落ちざるに早くも途中に窒息して些の苦痛を感ぜざるなりと、然りと雖も實行者の口より洩れ得べき問題にあらず只推定のみ、苦痛なき死。人彈丸に當りて即死する如き學理上苦痛を感せず、苦痛は刺激が腦に傳はりて起るものなるに、右の場合に於ては刺激が腦に傳はる間に、彈丸致命の傷を與ふるが故に、其死に苦痛なしと如何なる者にや、

生は大博士と雖も保し難く死は一少女と雖も恐れず

鐵砲に當りて苦痛なしと五段目の定九郎も又幸運兒かな

歡極まりて死せし婦人と 飛んだ相伴せし後家

歡極まりて死せし婦人。英國倫敦の或街に、小商賣を營みて其日其日の生活を送

りし一人の婦人ありけり、此頃椅子に腰掛けたる儘倒れ居るにぞ、近所合壁打ち集ひて身軀を檢べたるに、手には五萬磅(我五十萬圓)の富籤に當りたりとの通知狀を緊と握り詰め、豊かなる笑ひの顔色其儘に事切れ居りしより、扱ては思はぬ大籤に當りて歡喜措く所を知らず、終に此始末に及びしかと一同合點したりとなん、

飛んだ相伴せし後家。巴里のセン、セーヴレン十八番地に住むチャーペールと呼ぶ今年四十一歳の後家、知人の葬儀に參列してバンユーの墓地で、愈々埋葬する際、名殘惜げに穴を覗く途端、足踏らせて頭顛倒と陥り、其儘冥土へ道行せし由なるが、哀にも亦氣の毒千萬の事どもなり、

百萬の財産何にかせん……此の病苦を如何にせん……遺産を誰にか譲らん……此等に無限の

苦悶せる者よりも清淨潔白歡喜措く能はずして死せるに何れぞや
御馳走の相伴呑むべし食ふべし……冥土の相伴三途の川六道の辻驚く事なけん

奇妙の自殺 と 金の隠し場を忘れて自殺

奇妙の自殺。亞非利加ニヤツサ湖近傍に住居する土人も、時には此世を果敢なく
思ふ事ありと見へ、若し自殺せんと欲するときは、必ず湖水に行き脊の立つ處
にまで這入りて佇立り、鰐の來つて一口に自分を喰ひ殺すを待ち居るなりと、
又思ひ付の自殺法、

金の隠し場を忘れて自殺。巴里にローセルと云へる守錢奴ありけり、彼は所有の
金を盜賊に掠められん事をいたく恐れたる結果、庭園の或處に穴を幾つともな

く掘り、凡ての金を隠し置きたりしに、彼は如何に取上せしか金の隠し場を不
圖間違へ、如何程探るも隠せし金の出でざるにぞ、是れ畢竟盜賊の仕業ならん
と一圖に思詰めたる揚句の果は、生命あればこそ此の如き苦勞もある事なる故
一層死んだが利益と考へ、墓穴の代りと云ふ積りにや、庭園に穴を掘り此穴の
中へ首差伸べ短銃もて砲聲一發、我と我か咽喉を撃貫きて最後を遂げたりと云
ふ、

鰐の口か最後の地と定めたる鰐口自殺法……さすがは土人だけに
銀行もあるに……巴里にもこんな馬鹿が……ア、野蠻人にも劣る

蒸焼の黒人兵 と 西洋御茶の水事件

蒸焼の黒人兵。白耳義國ガツサイ地方のバリギスに土人の叛亂ありて。容易に鎮定せざるを以て、政府は特に黒人兵の一隊を派遣して極力鎮壓に勉めたるが多勢に無勢黒人兵の一隊は、反て土人の逆撃に遇ひ悉へ生擒せられたる上、蒸焼せられ土人の食ふ處となりし爲め、政府は大に決心して大掃討を行ふ筈なりと、

西洋御茶の水事件。倫敦はラムベス區の陋巷に於て、ズタ／＼に切り刻みたる一個の若き婦人の屍體を發見したり、其屍體を見るときは、全身熱湯にゆてられ又蒸焼にされたる形跡歴として存し、其腦蓋骨は破り去られ、手及足は切斷され臟腑は剔り取られ、其残酷なる事一見人をして戰慄せしめたる由なるが、何分顔一而傷だらけにて、其何人なるかを知る事能はざりしとの事なり、

黒人兵の蒸焼土人の爲めに噴盡さるこれではふかし芋も泣くならん
無残なる婦人の屍體倫敦にあり松平紀義たる者未だ出てさるか

自殺室 と 自殺志願者

自殺室。米國は市加古の神經病専門醫チャイレス、ゼコプスと稱する男、此程市長に向ひて自殺室の建築許可を出願したり、其目的とする所は凡ての自殺希望者に僅かの貸賃にて同室を貸與へ、愉快に其目的を達せしめんとするにありて室内には自殺に必要な細を初め、短銃、小刀、毒藥の類まで悉く備へ付け、自殺者の望に従ひ之を使用せしむる筈なりと云ふ、彼は既に米國內に於ける二十三個の自殺俱樂部の會員に向つて、廣告を配付したる程なりと云へり許可覺

東なからん、

自殺志願者。獨逸ハムホルクに於て一紳士、浮世が厭になり死ぬ氣にはなりしもの、何分自殺するを好まず種々思案の上、監獄の手に掛りて死ぬ事に決心し當時某所に殺人犯のありしを幸ひ、自分こそは其兇行者なりと自首し出て、臆て取調を受け居る中に、偶々人民の暴動舉り自分を獄内より奪ひ去つて、私刑に處せんとする計畫あるを知り、死ぬとは決心したりしもの、私刑とは恐ろしと氣も轉倒し、早速實際の事實を申立て、無罪放免の判決を求めたりと滑稽の極なり、

年々歳々自殺者の數を増す夥し自殺室の出來も無理ならず

自殺志願者とは滑稽……自殺は遊戯なるか……歐洲人も近來調子變れり

死刑後の富籤 と 乞食の俄出世

死刑後富籤に當る。澳 匈 國モリスツカア州ブラグ市のエルフェルトと云ふ男は、強盜殺人罪を犯したる爲め、死刑に處せられたるが、其後二日を経過して二萬八百三十圓の富籤に當りたる由なり、今少し早く此幸運を得たらんにはこの恐ろしき犯罪を犯すに至らざりしものを、

乞食の俄出世。巴里にてシユマルグラフと稱する乞食、俄に十一萬圓の財産に有附たる話あり、此男久しく慈善病院に在て治療を受け、出院し例の如く諸方を漂泊し居りたるに、一日アウペイルリア街にて飢渴と疲勞の爲めに歩行も出來ず、氣息掩々打倒れ居たり、之を見て種々介抱せる通り掛りの中に一名の

辯護士あり、彼は逐一乞食の身上話を聞きて、大に驚き扱てはそなたこそ我が
 久しく尋ね居たる人なり、そなたの兄にてマルハウスに住ひし人、此程病に死
 したりしが彼はそなたに向ひ、十一萬圓の財産を相続すべく遺しあり、と告げ
 茲に彼は俄に十一萬圓の財産家となりはなりしが、遅かりし、十日を経ざるに
 彼は病を得て憐れにも其夜死せりとぞ

死刑後の富藏……洋世は常にかくの如し勉めざるべからず

乞食も最後に及んで十一萬圓を得たるは本望と云ふべし

奇妙な遺産 と 菜食孤兒院

奇妙な遺産。故英國女皇陛下の御在世中は、屢々一面識もなき國民より種々の遺

産を御受納遊ばされたる由、其一二を記せばニールと云ふ一紳士は、五十萬磅
 を陛下に遺して死し、又陛下を慕ふ紀念として愛犬及び其飼料として、若干
 の金を添へて陛下に遺したる人も澤山あり、其他珍奇の器物、逸品の花弁及び
 指環等を送りし紳士貴女の數甚だ多かりしと云ふ、中にも不思議なりしは、陛
 下に猫を送りたる人あり、陛下には姓來猫を好み給はざりしも之を受けざれば
 其人の本意に反く譯なりとて、一旦御受けになりたる後之を侍臣に遺はされた
 りとなん、

菜食孤兒院。伯林で死去せし大學者のバロン教授、十二萬弗の遺産を市に托し自
 分主義の菜食孤兒院を起し與る、様遺言したりしに、市の當局者は菜食は人間
 の健康に適したる者と信ぜざるを以て、其事業を起す事能はずとて、終に其遺

産を受付けたりき。

貰いものといへながら犬猫の遺産では難有迷惑

肉食……大に健康を保つ……保たぬ……これこそ世界

巴里の持参金 と 最富の婦人

巴里の持参金。佛國巴里は世界中の晩婚國たり、其理由として多額の持参金を有するにあらざれば、嫁入する事能はざる爲め、四十五十の老令嬢甚だ多しと云ふ、又嫁入したる婦人と雖も愛兒の出産を、一大災難の如く忌み嫌ひ、盛に避妊の方法を講じて、二人より多くの子供を持たざる様爲すと云ふ、世界最富の婦人。世界に於て最も富めりと稱せらるる婦人は、名をヘッチトグリ

ンと呼び六千萬圓の財産を有して、其大部分は鐵道事業に投資しありと云へり、

巴里の持参金と避妊法……金は欲しいが子供はいらぬ……とこまで勝手やら

最富の婦人……財産を鐵道事業に活用す……婦人界の偉人なり

汽車乗客の悪戯 と 灸所を刺す遺言書

汽車乗客の悪戯。英國はマンチエスタのある停車場にて、今しも出發せんとする汽車目掛けて駈け附け來りし一人の若者あり、何れにか乗込まんとして席を求めけるも、込合ふ事として一つの空席だになきより、若者は肥え太りたる紳士の傍らに、黒き革靴のあるを見出し其處に割り込まんとして、紳士に向ひ「此處に

誰か居るのですか』と問ひたるに、肥太りたる紳士はさも誠らしく『左様拙者の友人の席なるが今一寸用足に行けり直に歸り來るなり』と答へたり、左れど若者は落附拂ひ歸り來らば直ちに退きますからと云ひながら、革靴押退け腰をぞ落附けたり、聽て號笛鳴り響き今や流車出發せんとするも紳士の友人は歸り來らぬにぞ、件の若者紳士に向ひ『流車は最早進行し掛けるのに、君の友人はまだ歸つて來ませんね乗後れたのでしやう、荷物を失くしては氣の毒ですから一つ届けてやりませう』と云ひながら傍らにありし黒靴取るより早くブラットホーム目掛けて投げ出したり……………紳士は大に怒りたるも靴は其時既にブラットドホームの上に轉がり入りて、如何ともせん様なく流石我儘の紳士も、遂に我を折りたりと云ふ、

矢所を刺す遺言書の、獨逸伯林にて死亡したる一富豪あり、此男死去の際『余の親族にして余の葬儀に列せざるものに五百馬克宛を與ふべし』と遺言したり、左れば葬儀の際會葬したるものは孰れも遠き縁故のものゝみなりき、然るに遺言に添書ありて此添書は葬儀を了りたる後に開かるべきものなりしが、葬儀の終るを遅しと待ちたる親族等、其了るや否や直に之を開き見たるに、其書には意外……………『五百馬克を犠牲にして余に最後の敬意を表せん爲め余の葬儀に列したる余の親族に余の遺産を分與す』と認めありて、葬儀に列せざりし親族の失望一方ならざりしと云ふ、

席を譲らざる流車中の紳士黒靴を投げ付けられたる氣味の宜さ

親族の不幸を己れの饒倖に遺産を食らんとする輩顔色なげん

主權者の收入 と 議員の歳費

主權者一日の收入。露西亞皇帝一日の收入は五萬圓、土耳其帝三萬六千圓、澳太利皇帝二萬圓、英國皇帝は二萬圓、獨逸皇帝一萬六千圓、以太利國王一萬三千圓、白耳義國皇帝は一萬二千圓、佛國大統領一萬圓、米國大統領二百五十圓なりと云ふ、

各國議員の歳費。米國上院議員は一萬圓、墨西哥六千圓、加奈多四千圓、佛國代議院議員は三千六百圓、埃國議員は三千圓、日本二千圓、巴拉西下院議員は六千圓、シインスランド四千圓、新シラランド千圓の歳費を受け、白耳義國議員は一週間四十二圓の手當を受くと云ふ、

博士の貪慾 と 富豪の餓死

博士の貪慾。匈牙利フダベストに於て滿都の注目を惹きし耳科専門醫トムカ博士の大犯罪あり、博士は豫て巨額の收入ある外現金にて金十五萬圓の貯蓄を有し金額に對し盜難保險を附したる儘、自宅の金庫に收め置たり、然るに近頃に至り博士は突然總ての下女下男を解雇して一週間の豫定にて澳國ウヰンナ府へと旅行したるが、其不在中盜賊同家に忍び入り、金庫を破壊したる上在中の金員残らず竊取し去りたり、博士は直ちに保險會社に向ひ保險金の支拂を要求したるにより、會社にては盜難の事實に關し夫々取調ぶる處ありしに、這は开も如何に眞の盜賊の忍び入りたるにはあらで、博士が保險金を詐取せん目的にて自

ら此所爲に及びたる事を發見したりしかば、早速博士に向ひ相當の處分を爲さんとせる中に、博士は事實の暴露を覺り、六階の窓より身を街路に投じて、自殺を遂げたるが後には一通の書置あり『黄金に對する無限の慾心は終に余をして此犯罪を行はしむるに至れり』と記しありしと云ふ、

富豪の餓死。以太利チユーリンに住へるマーチンと稱する夫婦、至つて貧乏を裝ひ食物も購はずして終に餓死を遂げたるが、死後家宅を搜索せしに、五百萬佛蘭克即ち二十萬圓計りの遺財ありきと云ふ、同人等生存中は下女も使はず、極めて貧乏なる生活を爲し居りたる由なるが、拜金宗にも程のあつたもの、

博士の貪慾は遂に身を殺し富豪の奇蹟は遂に己れを餓死せしむ好一對の我利く

失望娘 と 四時間百六拾萬圓

失望娘。巴里の或街に妙齡の佳人あり、我戀人との間に縁談整ひ、結婚式を擧げんが爲め、戶籍局に至り身分證明書の下附を請求したるに、這はそも如何に戶籍簿には立派に男兒と記入しありて、しかも徴兵適齡に達しながら其手續を怠りありとの廉にて逮捕令狀を發せられある事を發見して、娘の驚き一方ならず終に其相違を證明する事になりたるが、結局に至る迄には少くとも六ヶ月を要する事とて、其儘結婚は延期となり娘は非常に失望したりとなん、

四時間に百六十萬圓。僅かに四時間の賭博にて、百六十萬圓即ち一時間に四十萬圓一分間に六千六百圓の巨額を失ふたるは、露西亞のシヨセフポトワキと稱する伯爵なり、伯爵如何にして此大金を失ひたるか、
澳都維納に遊びて滞在中、一夜ジョケット俱樂部に行き、曾て失ひたる損失を

回復せん積りにて、匈牙利の國會議員ツエナア氏を敵手に骨牌の勝敗を争ひたり、初めの程は普通の勝負なりしも、中頃よりブラカンザ親王の來りて加はりしより、勝負は俄に活氣を添ひ來り、今夜も伯爵の方敗北の傾きあるにぞ、伯爵は躍起となり、負け高二千三千の呼び聲は既に通り越して、萬と呼び十萬と呼ぶ不運に、伯爵は大に氣を焦らち、見るさへ物凄さ有様に、側にあつて見物せる澳大利の貴族連中も、氣の毒に堪へず伯爵に向つて勝負の中止を勸告したるも、伯爵却々に聞入れず戰鬥を繼續したるが、敗北は依然として前の如く、根氣も疲れて其勝負を止めたる時には、議員のツエナア氏が百萬圓、ブラカンザ親王が六十萬圓の勝利にて結局伯爵は百六十萬圓の大金を失ふたる次第なりと云ふ、

戸籍の間違結締は延期されたりとて失望する事勿れ六ヶ月の後必ず光明あり

勝負は時の流れ伯爵健全なれ失望する事勿れ再び回復するの機會あるを

珍らしき川 と 色の變はる海濱

珍らしき川。西班牙のチトンと稱する川は、河底の砂を自然に石に變化する一種異様の特質を有し、若し石にして水流に落ち河底に於て他石に觸れて横はらんか、二三月する中には自然に結合して、一石となる奇跡の川ありと云ふ、但し此川には不思議にも魚類は一切棲息し能はざる由、

色の變はる海濱。墨西哥灣内の某島に於る海濱は、海潮の干満に従ひ一日に二回其色を變ずると云ふ、即ち干潮にして海濱の白砂顯はるゝに至れば紫色となり

潮満ち來つて白砂を蔽ふに至れば、急に金色に變じて其壯麗云ふ斗りなしと云ふ。

チトン川の水砂に應用せば好セメントを得へし
紫色となり金色となる海濱ありと我須磨明石に移し見たし

最深の海と太平洋の波

最深の海。世界五大洋中最も深き海底を有するは、太平洋にして今日迄の測量にて、最深の海底は、二萬五千七百二十呎なりと云ふ。

太平洋の波。倫敦大學の教授フレミン博士、太平洋の波に付て曰く、太平洋の波は世人の信ずるが如く爾かく大なるものにあらず、其最も長きものにて五十間

を超えず、普通十七八間を常とす所謂山の如き波と稱せらるゝ最も高き波の高さは、六間位にして普通大概二間四尺乃至三間三尺位を常とすと云ふ。

海より深し母の恩海すら我富士二倍以上の深底あるを
想像と實地大に差あり……山の如き波とて……六間に満たずとは

太陽に瀛車旅行と徒歩世界一周

太陽に瀛車旅行。一時間の速力四十哩の瀛車を以て、地球より太陽に向け旅行するときは、凡そ二百六十五年を費やすにあらざれば到着せず、其賃錢は二百五十萬圓の多額を要する割合なりと云ふ。

徒歩世界一周。晝夜休まず兼行して、世界を一週せんには、早くも四百二十八日

を要すと云ふ、

太陽への漁車旅行……今後何万年を過ぎたりとて
徒歩世界一周……最早古手で珍とするに足らず

海水の量 と 太平洋の塩

海水の量。全世界に於ける海洋總体の面積は實に一億四千四百萬平方哩にして、平均の水深二千尋なれば、此内に充滿せる水量は三百二十七萬六百萬噸なりと積算せらる、今此海水を干し世界の河水を是に注いで現今の如くならしめんに、一年三十六立方哩の程度にて、凡ての河水之に注ぎ其一滴をも蒸發せしめざるも、尙三萬五千年の歲月を費すべしと云ふ、

太平洋の鹽。海洋の含有する鹽を積まば、七百萬立方哩の大をなさんも、若し此鹽を同時に海洋より採り去るも、水面は一時までは落下せざるべしと、

三萬五千年注ぎ過ぎれば現今の海水量とならざると父母の恩は五十年より返す暇なし實に海は大なるかな

太平洋の鹽……海水量の一時とは……海は大なるかな

三十日間の斷食 と 芋に化て九百哩の旅

三十日間の斷食。佛國陸軍の一兵曹アンドル、デスラツトなる者、單身旅行中セウエン山脈の一深坑に陥り、飲みも食ひもせずして、約三十日間に及び、漸くにして近縣探檢隊の一兵に見出され、幸ひに一命を拾ひたりと云ふ、

芋に化て九百哩の旅行。米國カンサス市にクランズゲッターと呼べる男あり、此頃友人と六百圓の賭をなし「馬鈴薯入」と記したる袋に入り、貨物車にて同市より市加古までの間約九百哩の所を三日半を費して旅行したるが、其間彼は水ととも一滴も飲まざりしと云ふ、

三十日間の断食……真に命かけとは斯の如きか

馬鈴薯に化ける一旅人……米國人では珍らしからず

拿翁の亡靈 と 倫敦の化物屋敷

拿翁の亡靈。巴里有名之美術館なるルーブルに拿破翁一世の佩用したる寶劍を陳列せるが、或る夜同館の番人、右の寶劍を陳列しある硝子戸棚の側を行過ぎし

に、戸棚の前に朦朧たる人影現はれたり、番人は何心なく之を視たりしに、正しく軍服を着けたる拿破翁の姿にして、寶劍を怨めしげに瞻め居る様、如何にも物凄きに番人は喫驚して正氣を失ひたり、翌夜は他人更代して見張りしに、番人も同じく怪物を認めて病氣となりたりとて、拿翁の幽靈沙汰は忽ち満都の人士に傳へられ、目下大評判なりと云ふ、

倫敦の化物屋敷。何れの國にも同じ妖怪沙汰、眞實と受取れざるが多きが中に、倫敦の化物屋敷と稱せらるる者甘軒にも満ちたりとは、驚かざるを得ず、一々詮議するものうければ、此には只皆無賃で此等の化物屋敷を貸すと云ふ丈を紹介すべし、恐い物見たさの好奇心に、あとは諸君の探險に任すべし、

拿翁の幽靈沙汰……皿屋敷の御菊そのけの概あり

倫敦の化物屋敷……何にか出るだらう……オ、恐

世界の骨牌 と 獨樂

世界の骨牌。世界中にて賭博に使用せらるる骨牌の總數は、驚くべき大數にして四千五百萬包に達すと云ふ、獨逸一國のみにて、總計三十四ヶ處の製造所あり例年の製造高は五百二十六萬包に及べりと云ふ、獨樂の賣れ高。英國に於ける一年間獨樂の賣れ高は二千萬圓にして、其大部分は英國に於て製造する者なりと、

骨牌は世界到る處に歡迎せられ……獨樂は到る處に振盪さる

將棊の課業 と 紙鳶揚げ

將棊の課業。濠州の公立小學校及び埃太利のストルベロ市にて、五歳以上の兒童となれば悉く將棊の遊戯を解し居る由なるが、其れも其等小學校に於て、

一課目として此遊戯を一般兒童に教授すと云ふ、

米國の紙鳶揚げ。米國にては紙鳶揚げ盛んに行はれ、爲に其俱樂部を設くるなど自轉車寫眞の流行と異ならず、紙鳶は氣象學研究に便あり、又無線電信と同じく船舶などより、生命救助の信號を傳ふるなどに用ゐ得べしと、

將棊の課業……まさか戦争の稽古でもあるまいに

紙鳶揚げ流行すと……フランクリン地下に感泣せん

ハミルトンの眼鏡 と チェムバレインの馬鹿

く事流行し、米國の或る富豪の夫人は三萬五千磅の衣服を新調して會場に臨み、或る小説家は那翁がウオタルローにて着せしと云ふ衣服を着して舞踏し、一人の紳士は佛國革命家ロベスピエーヤの古着を着けて威勢よく舞踏し、會後の食卓上に使用せる酒杯は、ルイー第十四世の使用せしものなりと、凡て古來稀れなる奇装を喜ぶの風あり、

米國での玻璃の衣裳……野蠻人が見たら妖怪と間違ふべし

巴里の新流行……こんな物でも着けざれば焼點となるまじ

ポリア兵の視力 と エヂソンの睡眠時間

ポリア兵の視力。野蠻人の視力、文明人より強きは、一寸不思議の様なれど、一

般の事實なり、南亞非利加に苦戦中なりシトランスブアールのポリア兵は、英兵よりも二哩遠くを視得るを以て、其狙撃に巧なる事、世界稀に見る所なりと云へり、

エヂソンの睡眠時間。發明界の拿破翁と稱せらるゝエヂソン氏、發明工夫に熱中して寢食を廢する事あり、或機械の發明中の如きは、五晝夜の間一時と雖も睡眠に就かざる事ありしと、

狙撃に巧みなるポリア兵戦争に負く天道是非か實に文明恐るへし

五日間四十時の睡眠時間……エヂソン儘に常人以外に利用せり

文身 と 長髯

文身。世界に於て最も有名なる文身を爲せるは、米國の教授フランク、ホーワツト氏なり、全身に七百八拾種の圖樣ありて、其着色は煤色、炭黑色、丹色、支那、亞米利加、英吉利各國産の朱色、印度黑色、普魯西産青色、イチゴ色、印度の紅色及び洋紅色、日本及び支那の黑色等にして、此文身を爲し了るに百四十五日を要せりとぞ、

珍らしき長髯。佛國アリエー州のモンチユコンに住ずるクイロンといふ人は、本年七十六歳なるが、無類の長き髯を有し、其長さ十呎十吋半、口髯の長さ三呎半なり此人は毎日曜を髯の掃除に費やす由にて、外出するときは其髯を見んとて多くの人附纏ひて常に市をなせりとぞ、

文身も一の技術なりと……さりとて父母に受けたる身体を

掃除に一日掛るとは……厄介の長髯かな

なる勿れ各國帝王 と 土國總理

帝王となる勿れ。英國アール公妃の貯藏に係る書畫帖中に「汝は誰を羨むや」との問を答へたる各國帝王及び皇族の答あり、現英國皇帝(皇太子たりしとき)の答は「予が最も羨む者は己れの身体は己れに屬し、世人より一舉一動に注目せられざる人なり」とあり、現皇太子ヨーク親王の答は「隨意に休息日を得、欲する處に行き何人にも注意せられざる者ほど羨ましきはなし」とあり、澳國皇帝の答は「帝王にあらざる者は何人と雖も朕の羨む處なり」とあり、獨逸皇帝の答は「朕が羨まざる者は唯だ祖國を愛せざる者のみ」とあり、最後に「朕

が羨望に堪へざるは大國に君臨せざる者と、貧民の悲みを感じざる者なり』とあるは、露國皇帝の答なり、現英國皇后陛下の答は『最も羨しと思ふものは貴顯にあらざる者、自分の用事をのみ爲し得る者』とあり、現皇太子妃ヨーク内親王の答は『世界にて最も羨まじきは夫なり』とあり、

土國總理の近年土耳其に於て總理大臣となりし者、總計二百名にして内満足の死を遂げたる者僅に二十四人に過ぎずと言ふ、而して今變死總計の内譯を見るに毒殺せられたる者百人、斬首若くはボスボラス河に投せられたる者三十六人、單に行衛不明なるも、土耳其の歴史家が、彼等に付何の記する處なきを見て、満足に死したる者にあらずと推測して不可なき者四十人なるか、中には職にある事僅に四時間にて、首刎られ甚だしきは在職タツタ十分間にて絞殺されたる

ものありと、人生土耳其の總理大臣となる事勿れとても云ふべきか、

なる勿れ帝王と……この御言葉は惜氣なく發せらるるとは一に國民の罪に坐す

土國總理と……刺客……如何なる前世の宿縁ぞ

不愉快の職業 と 錢拾ひ商賣

不愉快の職業の露國の南部殊にドン及びドネツ河に沿ひたる沼多き地方にては、

不愉快なる且つ危険なる職業に依りて、眞に報酬的の生活を送る住民あり、其職業は即ち蛭を捕ふる事にして、彼等は赤脚の儘水の中を踏み歩き、蛭の多く脚に附着するを待て、陸に上り其蛭を取りて之を壺に入るとなりと、此職業は啻に苦痛を與へて身軀を衰弱せしむるのみならず、時としては生命を失ふ事あり

りと云ふ、

錢拾ひ商賣。佛國巴里の如き繁華の都會には、自然金錢の遺失多き事とて、之を拾ひ廻るを以て一の商賣となせる者ありて、其所得も亦少なからず平均一法と五十サンチム（我六十錢）を拾ふを常となせども、中には毎日三法（一圓二十錢）を拾ひ得る者もありと云ふ、其地上を見詰めてブラ〜と市街を彷徨する彼等の様子は、實に見るに堪へず、而して彼等は随分間緩るる商賣なりとて、常に不平を鳴しつゝありと、

我血を與へて姪を捕ふ眞に危険千萬命懸の商賣

巴里の錢拾ひよ不平言ふ勿れ巴里なればこそ……我日本ならば一日歩いたとて二錢も……青砥

藤網地下に感泣せん

葡萄酒の消火 と 匈牙利の洪水

葡萄酒の消火。米國カリフォルニアの一葡萄園火を失して延焼しける時、此を消止むるに水を求むるの猶豫なく、爲めに四萬八千六百四拾貫の葡萄酒を費して漸く消止めたりと云ふ、

匈牙利の洪水。先年匈牙利國に洪水起り、ダニユープ河の沿岸、其附近村落に大損害を與へたるが、ブダベストの最底地なる部分は、河水の浸入を受くる事深く、寒氣凜烈なる爲め多數の狼群を爲してカアパンアン山麓の村落を襲ひ、之が爲め殺害せられし者、四週間に三十人に及びたりと云ふ、

火を消すに葡萄酒を以てす……我をして消防夫たらしめば

匈牙利の洪水に狼に食はるとは……真に泣面に峰

氷上の激戦 と 紙の鞘

氷上の激戦。千五百七十二年和蘭の艦隊アムステルダムの近海に碇泊中、堅氷に封鎖せられ進退する能はず、敵將ドシ、フレデリックは此時撰抜兵の一枝隊を派して、堅氷封鎖の軍艦を捕獲せんと試みしに、艦内の士卒氷を破つて艦隊の周圍に堀を作り、奮戦能く防ぎ再び壕の結氷を待ち、氷滑車を穿ちし突撃隊を編成し、攻撃軍に向つて逆襲の突貫を試み、敵を氷上に殪す事數百、一舉して攻撃軍を撃退せりと云ふ、此れ歴史未聞の氷上の大戦争なりし、其後十七世紀の終に和蘭の一隊、再び氷滑車隊を以て、スケルト河上佛兵を撃退せ

る事あり、

紙の鞘。露國士官の帶するサーベルの鞘は、軍略上と輕便とを貴ぶ點より、是迄の光輝眩さ鞘を廢して一切紙の張子を以て拵へ、之にワニシを塗りし者に改造したりと云ふ、又獨逸のプレスロー市では、高さ五丈に餘る紙製烟突あり、防火薬を充分に塗附したるものなるか、煉化に比べて反て廉價なる上、其程度は煉化にも劣らざる好成绩なりとの事なり、

氷上に於ての活動……壯觀……偉觀

改良せし進歩せよ……露國の軍人すら紙の鞘を帶べり——ニシク……秋アリニ去ツ

開關以來の大暴風雨 と 紅色の雪

開闢以來の大暴風雨。紀元千七百三年十一月二十七日を中心として、前後一週間に歐洲を吹き暴らせし大暴風雨は、世界開闢以來の大暴風雨にして、當時の被害金額は英京倫敦のみにて二百萬磅と注せられ、和蘭の海岸より吹き浚はれ行衛不明となりし船舶、無慮八千艘此他に軍艦十二隻、大砲五百二十四門と乗員千八百名を搭載せし儘何處へか吹き流され英國ケント州のみにて根より引抜かれたる樹本一萬七千本、グロースタアシアアにて六千本、家畜の殺傷は一ヶ處一萬五千頭の羊を始め、牛馬の被害無數にして、全歐洲中殆んど其害を被らざるなしと。

紅色の雪。澳大利の南部アルバイン山地方にては、時々紅色、或は黄色の雪降り皆々奇異の思ひなせしが、是れ亞非利加の大沙漠サハラの沙塵、シロツユ風

に吹かれて南歐洲の空に達し、寒氣の爲め冷却して終に紅色、又は黄色の雪を降らすなりと云ふ、

開闢以來の大暴風雨の被害は慘又慘悽又悽

紅色黄色の雪日光に配合せしめたし壯觀それ如何ぞや

星光の撮影 と 目に見ゆる星の數

星光の撮影。紐育のアルツクス教授は、一夜助手と共に金星の光にて寫眞を取りたるに、結果は意外に良好なりしと云ふ、

目に見ゆる星の數。肉眼を以て見ゆる處の星の數は、大約六千なるも若し高度の望遠鏡を用ふるときは、五百萬の星を見得べしといふ、

星光の撮影は世界の珍々無類飛切
五百萬の星を載ける吾人務めざるべからず

砂漠砂の深さと 地下の空氣

砂漠砂の深さ。有名なる亞非利加のサハラ砂漠は、其面積二百五十萬方哩に達し、其砂の深さは、平均四十尺以上五十尺に達せりと云ふ、

地下の空氣。倫敦に於ける地下鐵道の役員及び工夫は、他の鐵道に勤務するものよりも健康なりと云ふ、一鉢地下に於けるの空氣は、咽喉氣管病に適當し、且肺病患者の治療上大に利ありと云ふものあり如何にや、

サハラ砂漠は水なき砂石の大洋なり

地下の空氣……病的治療に効ありとは妙

皮膚に寫眞と 手巾新聞

皮膚に寫眞。羅馬尼亞の化學者チンケンスコは、人軀の皮膚に寫眞するの奇術を發明して廣く應用したるに、人軀に何の障害を與へず、尙痛みを覺えず、極めて巧妙に僅に三時間を費すときは、小形の寫眞を腕其他適意の所に、永久に印し得らるゝより、大に人氣を惹くに至りたりと云ふ、
手巾新聞。西班牙の首府マドリットには、麻布に印刷せる新聞あり、インキの代りに水に浸せば直に脱色する一種の化合物にて印刷せるものなれば、讀者は讀み了れば、洗濯して手巾となし得る新工夫なりと云ふ、

皮膚に寫眞？ 嗚呼進歩せる此社會……此後も
新聞にして手巾となると……眞に一舉兩得

二十世紀の首尾

二十世紀の首尾。當世紀の第一日は、火曜日にして、最終日は日曜日、一世紀の
總日數三萬六千五百二十五日にして、五千二百十八週に一日を不足す、

千珍萬奇終

附錄 世界博覽

金剛石の價、

金剛石の一噸は凡そ七千萬圓に價す

花の賣上高、

倫敦にて花の賣上額は實に年額二千萬圓に達す

金、

二十四金の金は純金なり廿二のは銀一銅一十八金のは銀銅各

三、十二金のは半ば金にして銀三、五銅八、五の割合なりと

云ふ

世界のペン、

世界に於て日々使用するペンの數は三百五十萬本に達すと

米人の金遣ひ、

米人が歐洲に漫遊し費す所毎年二億圓なりと云ふ

世界の結婚數、

世界中に行はる一日の結婚數大凡三千件に達すべしと



世界の貨幣

凡て百年前に九十二億圓なりし世界の貨幣は今三百三十五億圓に増加せりと云ふ

巴里の裁縫女、

巴里市に於ける婦人裁縫師は總數二十萬人なりと

火災損害高、

世界年々の火災に於ての損害高三億圓乃至四億圓に達すと

高價の煙草入、

波斯王の所有にして諸種の寶石を以て裝飾せるもの價凡八十萬圓なりと云ふ

鐵道運轉費、

世界に於ける各鐵道を運轉するに一日十一億圓を要すと

フットボール、

英國人が毎年フットボール競戯に費す金は千萬圓なりと

百五十億枚、

一年間の世界の新聞紙發行總數にして之に費す紙八十六萬千二百四十噸なりと云ふ、

不潔なる都、

西班牙のマドリット府は歐州にて最も不潔を極め不健康の都なりと云ふ

機關車の力、

汽車の一機關は通常九百頭の馬と同じ力を有すと

紙幣の原價、

英國英蘭銀行の紙幣は其原價僅に一錢なりと

世界無鐵道國、

世界に於て全く一哩の鐵道を有せざるは波斯國なりと

實の多き果樹、

橙樹は一本二萬個の實を結ぶ事珍らしからずと

倫敦の質物、

倫敦市中の質屋の受くる一週間の質物は三百萬圓に達す

諸國の讀書力、

獨逸は一年二萬種佛國は一萬千種以太利は九千種英國は六千種米國は五千種の新書を發刊すと云ふ

英國の石鹼、

英國が一年間に消費する石鹼の價四億磅に達すと

人類の壽命、

世界人類の壽命は百歳に達する長壽者は千人中に一人の割合

探検の犠牲、

十九世紀間に於て北極探検の爲めに死したる者四百人費用凡

二億五千萬圓二百隻の船を失ひたる勘定なりと云ふ

絹帽子の代價、

英國の高襟黨が帽子に拂ふ代價一年二百五十萬圓に達すと

最古のホテル、

はパバリア國レゲンスバURGにある金十字と稱する旅館にし

て建設以來既に七百年を経過せりと云ふ

旅店最多國、

其土地の廣さに比べて旅店の多きは瑞西にして全國旅店の總

收入五千萬圓なりといふ

食物の消費高、

英人は一年平均九十六圓佛人は九十四圓獨人は八十四圓西

人は六十六圓以人は四十九圓露人は四十六圓の食費なりと

女の髪の毛、

一人の女の髪の毛の長さを繋ぎ合はすれば其長さ四十哩より

六十哩に達すべしとなり

男の頭髮、

は女の頭髮より五年程早く白髪となると云ふ

西班牙の闘戲、

五千以上の馬及び千五百の牛西班牙に於て年々闘牛戲の爲め

に殺されると云ふ

印度の蛇害、

昨年中印度に於て蛇に噛まれし者殆ど二萬五千人同年中に殺

されたる蛇は十三萬五千に達せりとぞ

生れ乍ら盲人、

百萬人中六十人の割合なりと云ふ

英國の不具者、

倫敦義足賣捌商の計算によれば英國内に於て足を失ひ居る不

具者は凡そ三十萬人に達すべしと

巴里の自殺者、
 頓 死 者、
 死者の多き時、
 狂 人 國、
 天氣と人命、

佛國巴里に於て日々自殺をなすもの平均十人なりと云ふ
 男子の頓死者の数は女子に比すれば八倍の多數なり
 倫敦に於て死人の多きは冬季の間にして百人中八十八人は此
 季節中に死し夏季には僅に残りの十二人死するに過ぎず
 瑞西は世界中にて最も多數の狂人を有すると云ふ
 輝くばかりに空の晴れ渡りたる日には暗殺自殺多く行はれ之
 に反して精神の狂變は多く濕氣ある曇れる空の下に起ると

〔附録世界博覽終〕

明治三十五年九月九日印刷

明治三十五年九月九日發行

千珍万奇興社

正價金拾八錢



編述者 西 州 子
 發行者 福 田 滋 次 郎

東京市京橋區新肴町十四番地

印刷者 石 川 金 太 郎

東京市京橋區西紺屋町廿六七番地

印刷所 株式會社 秀 英 舍

東京市京橋區西紺屋町廿六七番地

發行處 東京市京橋區新肴町十四番地 晴 光 館

大賣捌所 東京 北隆館・東京堂・東海堂・上田屋 大阪 吉岡平助 其他各書林

晴光館發行書目

クルヤスピ ● - ゴーエ

和英 艶書集 對譯

LOVE LETTERS. 版三
 天は銀漢に驚き天
 地は實に戀を以て
 されぬ今や稀世の
 文豪と絶世の政治家
 家とを相対する花相
 臨み各月多感なが
 如く愛を描出す凡て
 る戀をのめ凡て
 英和對譯の趣を
 りたれば外譯を取
 工方を選ばし好也
 一夫を讀すべき也
 正價金拾五錢郵税二錢

版三
 發賣以來非常の好評なる本書は
 身衛生及疾癒の極に關する
 候療法並に男女生殖の諸
 衛生女醫書
 新書

實價金廿錢
 郵税四錢
 封小包料
 六錢
 封小包料
 六錢
 封小包料
 六錢

文學士久保天隨著 滑稽百笑話

笑は百樂の長笑ふ門に福來る豈に笑はずして可ならん能く笑ひ給ひ
 文學士久保天隨著 (後編近刊)

再版 教訓小話

面白き例ひ話と言文一致に書顯はせし珍書
 鈴木天照宮崎來城兩君序
 前編 正價金十五錢
 菊版 四錢

再版 血達磨日記

血達磨の足に掛りし奇警なる好旅行日記
 矢部島田兩學士鏡花春葉外拾數名執筆
 正價金卅錢
 郵税金四錢

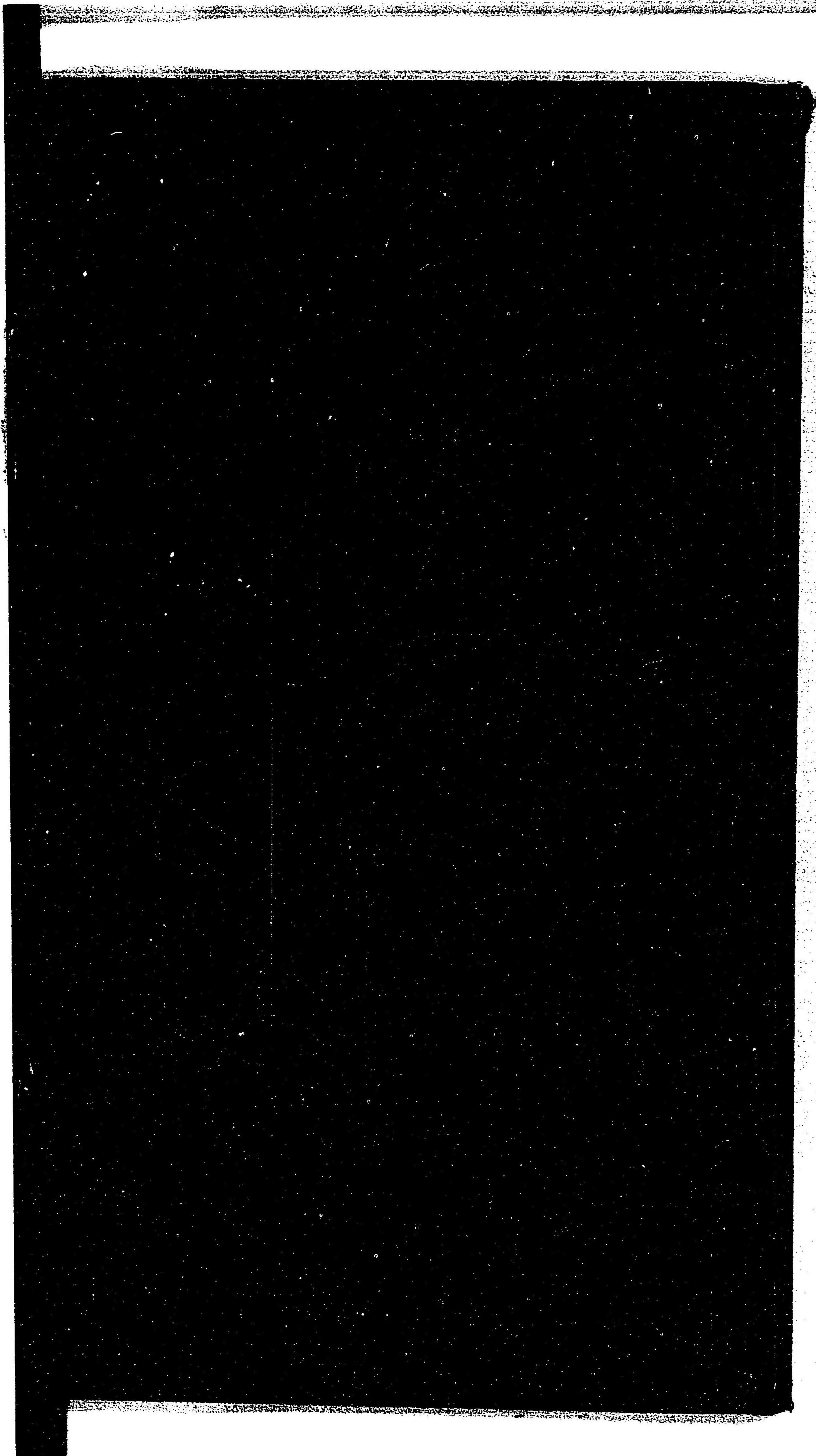
奇談勢揃ひ

壯快なる冒險談萬應談復讐談御伽話新作
 岡田法樂博士外廿名の學士執筆
 實價金廿錢
 郵税金四錢

志願話

實價金廿錢
 郵税金四錢

96
50



202970-000-8

96-50

千珍万奇

西 州子 / 編

M35

EDH-0030



